

IV 委員会活動報告

1. 学生センター部門

A 教育活動支援

(1) 全学教務委員会（構成員：教員9名・事務局員7名 計16名）

各学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。くわえて、昨(2017)年度より、それまで独立した組織・部署として活動・運営してきた共通教養・キャリア教育・資格取得支援・基礎教育各センター運営部会を包摂し、それぞれの審議・報告事項についても全学的な教務事項の一環として扱うようになった。とは言え、日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営を基本に力を注ぎつつ、学内外の動向を的確に捉え教学の充実に必要な諸課題を把握し対応に努めることおよび各種報告事項についても適宜扱い、教学に関わる各種情報の全学的共有を図るべく努めている。

今(平成30)年度もまた、日常的な教務事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべく努めてきた。

また、一昨(2017)年度まで独自の組織として活動・運営してきた1)共通教養、2)資格取得支援、3)キャリア教育センターについては、この間進めてきた改革によって個別の課題はほぼ解決でき、それぞれの業務内容が教学事項の一環をなすことから、今年度より、教学関連部会として全学教務委員会のなかに位置づけ(包摂し)必要な審議・報告を行ってきている。そうしたなかで、今年度の特徴として、資格取得支援の担当事務が教務課に移動したことに伴い、後述の「(b)事業・活動」「(3)教学関連各部会に関する事項」の「(b)資格取得支援部会」に記したように、従来は資格取得支援センター運営部会が所管してきた次年度の「資格取得奨励金」についても審議し決定したことがある。また、昨年度から対応してきた全学共通教養教育(科目)に関する諸事項についても適宜取り扱っており、これについては、ほぼ全学教務委員会の所管事項(通常業務)になったと判断してよいであろう。

以下、「(a)委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、また「(b)事業・活動」として、(1)全学的に共通する教学関連事項の検討・決定、(2)次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応、(3)各部会に関する事項、(4)その他 日常業務の4点にまとめ、今年度の活動状況を概述する。

(a) 委員会開催

第1回 平成30年4月19日(木)17:00~18:15 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)2018年度の課題について確認
- (2)2019年度年間予定案について検討(継続審議)
- (3)オーストラリア・ニューカッスル大学への引率者の公募について確認
- (4)教職関連科目における欠席配慮について審議、承認

〔報告事項〕

- (1)全学共通科目の履修状況について
- (2)2014年度入学生の卒業状況について

第2回 平成30年5月9日(水)17:00~18:30 欠席1名

〔審議事項〕

- (1)2019年度年間予定案について検討(継続審議)
- (2)オーストラリア・ニューカッスル大学への引率者の確認、決定

(3) 海外研修の履修抹消→登録時に予測できない事態が生じた場合は抹消を認めることの確認

〔報告事項〕

- (1) プレイメントテスト結果について
- (2) 入学前セミナー等のアンケート結果について
- (3) e-learning(オンライン英語学習システム公開)について
- (4) English caféについて
- (5) 前期の履修抹消について

第3回 平成30年6月6日(水)17:00~17:50 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) COC事業関連科目の検討(全学共通・地域社会関係・必修科目の設置)について(継続審議)
- (2) 2019年度年間予定案について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 次期認証評価に向けた教務委員会スケジュールについて
- (2) 後期オリエンテーションについて
- (3) 文科大臣学修等単位認定申請様式について
- (4) 教具関係備品の管理について
- (5) 休講届兼補講希望届の様式変更について

第4回 平成30年7月4日(水)17:10~19:00

〔審議事項〕

- (1) COC事業関連科目(全学共通・地域社会関係・必修科目の設置)について(継続審議)
- (2) インターンシップ科目の設置について(継続審議)
- (3) キャリア系科目の検討と担当者について(継続審議)
- (4) 短期大学部履修規程の変更(履修上限の設定)について審議、承認
- (5) 授業中の事故報告について(継続審議)
- (6) アセスメントポリシーの策定について検討(継続審議)
- (7) 科目履修生と聴講生の履修料について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 非常勤講師の業務委託契約について
- (2) 2017年度の退学率について
- (3) 前期試験並びに前期成績発表後の学生指導の徹底について
- (4) 出席登録・オフィスアワー実施記録提出の徹底について
- (5) 復学相談について
- (6) 新入生保護者アンケート結果について
- (7) 教職センターからの介護体験実施等に関する報告

第5回 平成30年8月1日(水)17:00~18:45 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) COC事業関連科目(全学共通・地域社会関係・必修科目の設置)について(継続審議)
- (2) インターンシップ科目の設置について(継続審議)
- (3) キャリア系科目の検討と担当者について審議、承認
- (4) 共通教養科目の定年となる非常勤講師について(継続審議)
- (5) 東京オリンピック開催に伴う2020年度年間予定(110分授業導入等)について(継続審議)
- (6) 教職科目に関する2018年度兼担依頼について審議、承認
- (7) 定期試験における試験時間(原則70分以内とする)について(継続審議)
- (8) 改革総合支援事業に関する履修系統図等の公開について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) アセスメントポリシー確定について

(2)基礎教育センター・スタッフ会議報告

(3)教職再課程認定申請について

第6回 平成30年9月4日(火)9:30~10:50 欠席1名

〔審議事項〕

(1)COC事業関連科目(全学共通・地域社会関係・必修科目の設置)について(継続審議)

(2)インターンシップ科目の設置について審議、承認(3年前期、2単位等)

(3)共通教養科目の定年となる非常勤講師について承認

(4)2019年度兼担依頼について(継続審議)

(5)各学部のカリキュラム検討状況について確認(継続審議)

(6)2019年度前期オリエンテーション日程について確認

(7)東京オリンピック開催に伴う2020年度年間予定(110分授業導入等)について(継続審議)

〔報告事項〕

(1)後期オリエンテーションについて

(2)TOEIC IPテストの結果について

(3)English caféの利用状況について

第7回 平成30年10月3日(水)17:00~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

(1)COC事業関連科目(全学共通・地域社会関係・必修)の設置について審議、承認

(2)東京オリンピック開催に伴う2020年度年間予定(講義13週案)について提案撤回確認

(3)キャリア系科目の担当者について(継続審議)

(4)各学部のカリキュラム検討状況について確認(継続審議)

(5)2019年度時間割について検討依頼

(6)2019年度兼担依頼について審議、承認

(7)定期試験における試験時間(原則70分以内とする)について審議、承認

(8)次期認証評価への対応(S評価の素点設定等)について確認

〔報告事項〕

(1)後期履修状況について

(2)教職課程履修状況報告並びに教職課程履修規程の検討状況について

(3)後期欠席調査について

(4)教科書の複製禁止について

(5)教育学部の留学プログラムにおける単位認定について

第8回 平成30年11月7日(水)17:00~18:40 欠席なし

〔審議事項〕

(1)COC事業関連科目(「地域入門」、1年前期1単位8回、必修)について審議、承認

(2)東京オリンピック開催に伴う2020年度学年歴(祝日の講義日化等)について審議、承認

(3)2019年度年間予定および学年歴(5月の大型連休実施)について審議、承認

(4)キャリア系科目の担当者について審議、承認

(5)2019年度時間割について(継続審議)

(6)次期認証評価への対応(成績優秀者の履修キャップ緩和等)について審議、承認

(7)今年度の「シラバス作成の手引き」について審議、承認

(8)平成31年度転学部転学科試験について審議、承認

〔報告事項〕

(1)履修抹消状況について

(2)シラバス記載に関するFD実施について

(3)「備品破損・紛失届」について

第9回 平成30年12月4日(火)13:30~14:50 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 各学部の2019年度カリキュラム案について報告、審議、承認
- (2) 各学部の2019年度時間割案について報告、審議、承認
- (3) 次期認証評価への対応(学則および規程変更等)について審議、承認
- (4) 2019年度「資格取得奨励金」について(継続審議)
- (5) 2019年度教務委員会スケジュール案について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 第2回欠席調査について
- (2) 2019年度シラバス入稿について
- (3) 大学院の教職免許取得について

第10回 平成31年1月9日(水) 17:00~18:15 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) COC 事業関連科目の担当者について承認
- (2) 各学部の2019年度時間割案(PC教室と体育館使用等)について審議、承認
- (3) 次期認証評価への対応(成績評価へのPとFの導入)について審議、承認
- (4) 2019年度「資格取得奨励金」について(TOEFLテストと日商簿記3級の追加)審議、承認
- (5) 科目名称の英語表記について(継続審議)
- (6) 2019年度以降の「比較文化」の履修制限について審議、承認
- (7) 「キャリア入門」の4年生履修制限について審議、承認
- (8) 「松本大学専門員派遣依頼申請書」について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 「松本大学教職課程履修規程(案)」の全学協議会における承認について
- (2) 後期試験について(不正行為禁止の徹底など)
- (3) 成績不振学生に対する対応および指導記録の提出について
- (4) 2019年度シラバス入稿について
- (5) 就職活動に伴う証明書の発行について

第11回 平成31年2月7日(木) 15:00~17:00 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 各学部の2019年度時間割案について最終確認
- (2) 2019年度カリキュラムツリー・履修モデルの作成について確認
- (3) 科目名称の英語表記案について審議、承認
- (4) 2019年度シラバスの点検について確認
- (5) 適正な出欠管理について確認
- (6) 今年度の振り返りおよび次年度の目標について確認

〔報告事項〕

- (1) 転学部転学科試験実施について
- (2) English café実施状況について
- (3) 基礎教育センターの活動状況等について
- (4) 成績不振学生に対する対応および指導記録の提出について
- (5) 新年度に向けた学籍異動について
- (6) 次年度準備について
- (7) 「2019年度学生便覧」の作成状況について

(b) 事業・活動

(1) 全学的に共通する教学関連事項の検討・決定

- ・COC 事業関連科目(全学共通、地域社会関係、必修)設置の検討・決定

- ・インターンシップ科目設置の検討・決定(3年前期、2単位等)
 - ・定期試験における試験時間共通化(原則70分以内)の検討・決定
 - ・2019年度学年歴(退位・即位に伴う5月大型連休)の検討・決定
 - ・東京オリンピック開催に伴う2020年度学年歴の検討・決定
- (2)次期認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応
- ・次期認証評価に向けた教務委員会関係スケジュールの作成と確認
 - ・「短期大学部履修規定」変更(キャップ制導入)の検討・決定
 - ・成績優秀学生に対する履修キャップ緩和の検討・決定
 - ・「松本大学学則」変更(S評価と素点の記載、成績評価PとFの導入等)の検討・決定
 - ・アセスメントポリシーの検討・確定 他
- (3)教学関連各部会に関する事項
- a)共通教養部会
- ①定年に達する共通教養科目担当非常勤講師の後任について検討・決定
 - ②「海外研修」のオーストラリア・ニューカッスル大学への引率者の検討・決定
 - ③全学共通教養科目の履修状況の把握 他
- b)資格取得支援部会
- ①資格取得奨励金の支給状況
(表1「2018年度 前期 資格奨励金給付状況」、表2「2018年度 後期 資格奨励金給付状況」参照)
 - ②公務員試験対策講座の履修状況(表3「2018年度 公務員試験対策講座 講座別受講者数」参照)
 - ③公務員就職実績(表4「2018年度 公務員就職実績」参照)
 - ④「2019年度資格取得奨励金」について検討・決定 他

表1：2018年度 前期 資格奨励金給付状況

資格名	奨励金	総経	人間	教育	短大	合計	給付額
簿記能力検定試験1級会計	5,000				1	1	5,000
簿記能力検定試験1級工簿	5,000				1	1	5,000
ITパスポート試験	20,000	1				1	20,000
情報処理技能検定(表計算初段)	3,000		1			1	3,000
情報処理技能検定(表計算1級)	1,000	34	16		30	80	80,000
ホームページ作成検定1級	1,000				8	8	8,000
日本語ワープロ検定初段	10,000				1	1	10,000
日本語ワープロ検定1級	3,000	1			6	7	21,000
Microsoft Office Specialist(Excel)	5,000				49	49	245,000
Microsoft Office Specialist(Word)	5,000				28	28	140,000
ビジネス文書検定試験2級	3,800				6	6	22,800
サービス接遇検定試験2級	2,000	6				6	12,000
FP技能士3級(学科)	10,000				1	1	10,000
FP技能士3級(実技)	10,000	2			1	3	30,000
ビジネス実務法務検定3級	10,000	1				1	10,000
販売士検定3級	4,100	5			1	6	24,600
TOEIC(700以上)	30,000	2				2	60,000
TOEIC(600以上)	20,000	4		2		6	120,000
ニュース時事能力検定試験準2級	3,000				1	1	3,000
合計		56	17	2	134	209	829,400

表2：2018年度 後期 資格奨励金給付状況

資格名	奨励金	総経	人間	教育	短大	合計	給付額
日商簿記検定2級	10,000				1	1	10,000
簿記能力検定試験1級会計	5,000				15	15	75,000
簿記能力検定試験1級工簿	5,000				11	11	55,000
情報処理技能検定(表計算初段)	3,000				25	25	75,000
情報処理技能検定(表計算1級)	1,000	2			74	76	76,000
情報処理技能検定(データベース)	1,000				1	1	1,000
文書デザイン検定	1,000				22	22	22,000
ホームページ作成検定1級	1,000	12			1	13	13,000
プレゼンテーション作成検定1級	1,000	1				1	1,000
Microsoft Office Specialist(Excel)	5,000				1	1	5,000
Microsoft Office Specialist(PowerPoint)	5,000				17	17	85,000
サービス接遇検定試験2級	2,000	2				2	4,000
色彩検定3級	3,500				3	3	10,500
FP技能士3級(学科)	10,000	3			2	5	50,000
FP技能士3級(実技)	10,000	3			2	5	50,000
宅地建物取引主任者	50,000	3				3	150,000
証券外務員1種	50,000	1			1	2	100,000
証券外務員2種	30,000	2			2	4	120,000
ビジネス実務法務検定2級	12,000	1				1	12,000
国内旅行業務取扱管理者試験	30,000	7				7	210,000
福祉住環境コーディネーター3級	2,500				2	2	5,000
販売士検定3級	4,100				21	21	86,100
TOEIC(700以上)	30,000	2				2	60,000
TOEIC(600以上)	20,000			2		2	40,000
実用英語技能検定2級	5,000				1	1	5,000
ニュース時事能力検定試験準2級	3,000	2				2	6,000
合計		41	0	2	202	245	1,326,600

表3：2018年度 公務員試験対策講座 講座別受講者数

対象学年	講座名	受講者数	開講期間 (回数)
学部4年	合格講座	3名	3/28～6/9 (全40回)
学部3年	教養講座B	16名	4/13～7/27 9/21～1/15 (全30回)
	専門講座B	9名	4/11～7/18 9/26～1/16 (全30回)
学部2年	教養講座A	26名	4/10～7/17 9/25～1/22 (全30回)
	専門講座A	9名	4/9～7/23 9/27～1/17 (全30回)
学部1年	入門講座	40名	5/14～7/16 9/24～1/21 (全25回)
短大2年	実践演習講座	8名	4/13～9/19 (全25回)
短大1年	入門講座	23名	4/12～7/26 9/25～1/22 (全30回)

表4：2018年度 公務員就職実績

学 科	職 名	人 数
総合経営学科	—	0名
観光ホスピタリティ学科	長野県警察	1名
健康栄養学科	塩尻市役所(上級)	1名
	長野県職員(管理栄養士)	1名
スポーツ健康学科	朝日村役場(初級)	1名
	警視庁	1名
	諏訪市役所(上級)	1名
	塩尻市役所(上級)	1名
	長野県警察	3名
松商短大部	伊那市役所(初級)	1名
	自衛隊一般曹候補生(陸上)	1名
合 計		12名

c) キャリア教育部会

- ① キャリア系科目のあり方(キャリア教育と就職指導の区別)と担当者の検討・決定
- ② 「キャリア入門」の4年生の履修制限の検討・決定
- ③ インターンシップ科目設置(3年前期、2単位等)の検討・決定 他

d) 基礎教育センター(後述)

(4) その他 日常業務

- ・ 各種オリエンテーションの企画と実施
- ・ 入学式当日の新入生保護者対象説明会の実施
- ・ 入学前セミナー・新入生保護者両アンケート・プレイスメントテストの実施と分析
- ・ 学期末試験実施に関わる注意事項等の徹底と成績発表後の学生指導等について確認
- ・ 出席登録・オフィスアワー実施記録の提出催促と整理
- ・ 適正な出欠管理に関する周知・徹底
- ・ 年度別卒業・退学・留年等の状況把握と分析
- ・ 各学部のカリキュラムと時間割に関する情報交換
- ・ 次年度準備

(c) 基礎教育センター部会 (構成員：教員6名・センター専門員4名、事務局員2名 計12名)

基礎教育センターは、4名の専門員と1名の事務局員が常駐し業務を行っていることから、その円滑な遂行のために「スタッフ会議」と称する打合せと調整を主たる内容とする会議を別途設け、専門員による授業補助や各種課題の実施希望および提出・返却方法などについて確認するなど、各学部・学科との円滑な関係の確保に努めた。また、センターの活動状況については、スタッフ会議報告を通じて直近の全学教務委員会でも情報の共有化が図られた。以下に、スタッフ会議の内容を中心に、センターの活動について概述する。

第1回 平成30年7月5日(木)16:50~17:30 欠席1名

〔報告事項〕

- (1) 朝の学習講座について
- (2) 基礎教育センターの関わる授業について
- (3) 「春季課題」・「入学前課題」の提出状況と返却方法について

- (4)「夏季課題問題集」の実施について
- (5)2018年度のセンターの休日設定について

第2回 平成31年2月1日(金)16:50~17:40 欠席なし

〔報告事項〕

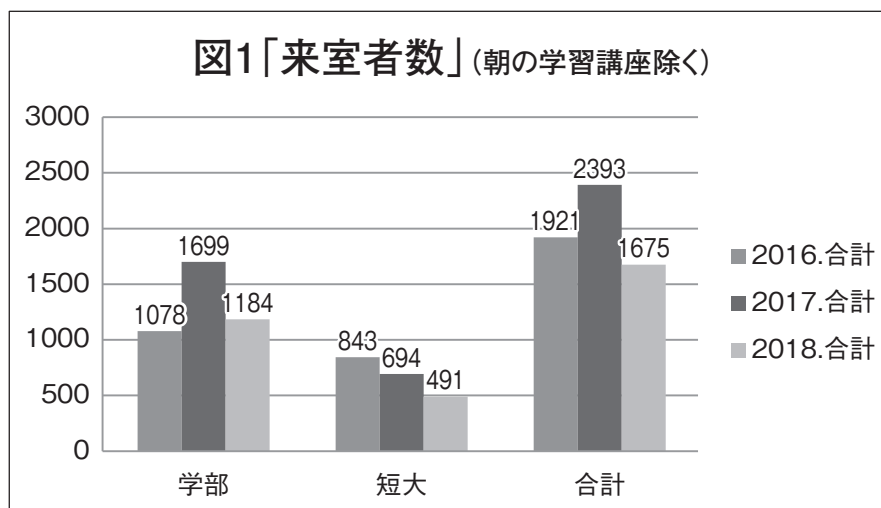
- (1)朝の学習講座・センター利用について
- (2)基礎教育センターが今年度関わった授業、課題について
- (3)来年度の確認について

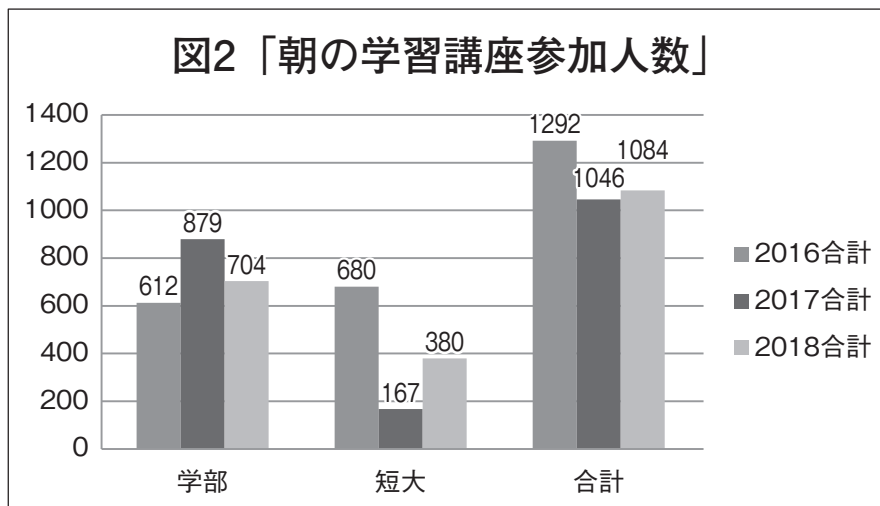
基礎教育センターの活動は上記2回のスタッフ会議報告に集約されているが、センターに所属する先生方について、昨(2017)年度「専門員」として明確に位置づけが成されたことに鑑み、その活動状況について以下に記す。

学部・学科	講義名等	実施時期	回数
総合経営学部1年	地域社会と大学教育	前期・木2限	11回(各30分)
人間健康学部1年	地域社会と大学教育	前期・月4限	10回(各30分)
教育学部1年	地域社会と大学教育	前期・水1限	7回(各30分)
総合経営学部3年	キャリア形成Ⅱ	前期・水4限	1回(数)
人間健康学部3年	キャリアデザインⅡ	前期・水1限	1回(数)
健康栄養学科1年	基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ	通年・金4・5限	5回(国)
スポーツ健康学科1年	基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ	通年・水3・4限	4回
スポーツ健康学科2年	スポーツ科学入門	通年・水3・4限	4回
※スポーツ健康学科2年	キャリアデザイン	後期・金4限	1回(小論文)
教育学部1年	オリエンテーション(課題解説)	9月・3月	2回、4教科
教育学部2年	オリエンテーション(課題解説)	9月	1回、4教科
※人間健康・教育	地域の文学	後期・月2限	2回
※教職課程	特別活動の指導法A	後期・金2限	1回
※教職課程	道徳の指導法	後期・金4限	4回
※教職課程	教採対策(模擬面接)	前期	2回(2名)
※短大部1年	キャリアクリエイト	後期・金2限	1回(数・英)

※6件は年度当初計画がなく追加実施となった案件

また、今年度のセンター利用学生延べ数は、図1「来室者数」と図2「朝の学習講座参加人数」とおりである。





(2) 全学教職センター運営委員会

1) 2018年度履修状況

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
総合経営学部	総合経営学科	1	1	3	1	6
	観光ホスピタリティ学科	7	6	3	4	20
人間健康学部	スポーツ健康学科	30	24	22	18	94
	健康栄養学科	8	2	0	5	15
教育学部	学校教育学科	72	59	0	0	131
合計		118	92	28	28	267

(平成2018年12月31日現在)

2) 会議開催

【全学】

- ・全学教職センター運営委員会 6回 4/26(木)、9/26(水)、11/7(水)、12/5(水)、12/25(火)、2/7(火)

【総合経営学部・人間健康学部】

- ・教職センター専任会議 11回 4/4(水)、5/10(木)、6/7(木)、7/5(木)、9/3(月)、10/4(木)、11/1(木)、12/6(木)、1/10(木)、2/7(木)、3/4(月)

- ・教職センター会議 6回 5/2(水)、8/9(木)、9/24(月)、12/12(水)、1/31(木)、3/4(月)

【教育学部】

- ・教職支援センター会議 13回 4/17(火)、5/9(水)、6/6(水)、7/4(水)、8/1(水)、8/28(火)、9/5(水)、10/3(水)、11/7(水)、12/5(水)、1/9(水)、2/6(水)、3/6(水)

- ・社会進出支援推進会議 9回 5/21(月)、5/29(火)、7/12(木)、9/13(木)、10/18(木)、11/29(木)、12/13(木)、1/7(月)、2/6(水)

3) 出版

『松本大学教職センター 教育実践改善シリーズ15』の発行 2019.3.31

4) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

2018年5月13日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2018年度定期総会

- 於：北里大学 山崎保寿教授 出席
 2018年5月20日・21日 第37回全国私立大学教職課程協会研究大会
 於：ホテルロイトン札幌、酪農学園大学 山崎保寿教授、田嶋哲也主任 出席
 2018年7月15日 2018年度関私教協 研究部総会・第1回研究部会・第1回研究懇話会
 於：日本体育大学 山崎保寿教授 出席
 2018年9月7日 日本養護教諭養成大学協議会
 於：きゅりあん 中島節子専任講師 出席
 2018年9月29日 京都地区私立大学教職課程研究会連絡協議会 教員免許事務勉強会
 於：龍谷大学 田嶋哲也主任 出席

5) 教員免許状更新講習

【必修領域】

- 7月28日(土) 「教育の最新事情」(講師：川島一夫、今泉博)
 8月7日(火) 「教育の最新事情」(講師：守一雄、武者一弘)

【選択必修領域】

- 7月29日(日) 「新学習指導要項への対応とその留意点」(講師：山崎保寿)
 7月29日(日) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」(講師：小松茂美)
 7月29日(日) 「教育の情報化 はじめの一步」(講師：室谷心)
 7月29日(日) 「学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎」(講師：岸田幸弘)
 7月29日(日) 「『気がかりな子』の理解と対応」(講師：中山文子)
 8月8日(水) 「外国語科における連携とその指導」(講師：和田順一)
 8月8日(水) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」(講師：小松茂美)
 8月8日(水) 「教育の情報化 はじめの一步」(講師：室谷心)
 8月8日(水) 「学校・家庭・地域の連携及び協働」(講師：大蔵真由美)
 8月8日(水) 「道徳教育」(講師：征矢野達彦、田野口弘)

【選択領域講習】

- 6月2日(土) 「カウンセリングと心理療法の基本と実際」(講師：中山文子)
 6月9日(土) 「美味しさの調理学」(講師：石原三妃)
 6月16日(土) 「ディベートとゲームで学ぶ道徳：進化心理学的アプローチ」(講師：守一雄)
 6月17日(日) 「生徒指導や部活動指導等に生かす臨床心理学—生徒理解のために—」(講師：齊藤茂)
 6月30日(土) 「救急救命法(CPRとAED)」(講師：山本薫)
 7月1日(日) 「体質に関わる遺伝子型解析実験」(講師：山田一哉、高木勝広、浅野公介、塚田晃子)
 7月8日(日) 「コミュニケーション・アプローチによる英語教授法」(講師：藤原隆史)
 8月4日(土) 「授業者のための身体と発声」(講師：羽田行男、盛加代子)
 8月6日(月) 「子どもの食物アレルギー基礎から応用まで(学童～思春期編)」(講師：沖嶋直子)
 8月9日(木) 「発達上の課題を有する非行少年の理解と支援」(講師：内藤千尋)
 8月10日(金) 「主体的な学びを育む小学校社会科授業づくり」(講師：秋田真、高山雪)
 8月11日(土) 「子どもの食物アレルギー 基礎から応用まで(園児編)」(講師：沖嶋直子)
 8月11日(土) 「共生社会とスポーツ～パラスポーツの体験とその教育的意義～」(講師：小林敏枝)
 8月18日(土) 「運動生理学アップデート」(講師：河野史倫)
 8月25日(土) 「子どもの問題解決が実質化する45分間の授業構成について」(講師：澤柿教淳)
 9月1日(土) 「わらべうたの教育的意義とワークショップ(幼小接続の視点から)」(講師：安藤江里)
 9月2日(日) 「結婚と結婚式、その変遷と現状」(講師：小澤岳志)
 9月8日(土) 「子どもがゲーム理解をするボールゲームの授業をつくる」(講師：濱田敦志)
 9月29日(土) 「近年における社会福祉・社会保障の動向」(講師：今村篤史)
 10月6日(土) 「異文化コミュニケーションの実践(異文化理解と英語コミュニケーションからのアプロー

チ) (講師：大石文朗、マーメット・ショーン)

11月10日(土) 「子どものお弁当から学ぶ食育・栄養指導」(講師：水野尚子)

11月18日(日) 「ミクロの世界をのぞく－細胞を見る(正常の細胞から癌細胞まで)」(講師：江原孝史、塚田晃子)

6) 教職専門職への就職実績

総合経営学部 1名

人間健康学部 5名

教育系大学院進学 1名

7) 2018年度 教職センター活動日誌(抜粋)

【総合経営学部・人間健康学部教職センター】

- 5月7日～ 2018年度教育実習開始
- 4月9日～ 教員免許状更新講習 受付開始
- 4月12日 3年生対象 教育実習ガイダンスⅠ
- 4月19日 教育実習直前ガイダンス+梓友会説明
- 4月20日～ 教職課程履修者の成績不振者との面談
- 4月25日 教員免許状更新講習教員説明会を開催
- 4月26日 長野県教育委員会高校教育課との教員採用試験に関する情報交換
- 5月30日～ フォローアップ訪問開始
- 6月16日 第1回 梓友会の開催 於：アルピコプラザホテル
- 6月16日 教員採用試験模試 実施
- 6月25日・7月2日 「地域社会と大学教育」人間健康学部において教職課程の説明
- 6月28日 教員採用試験 面接対策講座
- 7月4日～ 特別支援学校における介護等体験開始
- 7月5日・12日 「地域社会と大学教育」総合経営学部において教職課程の説明
- 7月7日・8日 長野県教員採用選考第一次選考
- 7月12日 教員採用試験一次試験報告会
- 7月16日～31日 平成30年度 教職課程履修受付
- 8月9日 教員採用試験二次試験対策講座
- 9月19日・20日 教職履修者対象 後期オリエンテーション
- 9月27日 ボランティア系科目のガイダンス
- 9月28日 上越教育大学大学院説明会
- 9月29日 京都地区教員免許事務勉強会参加(田嶋)
- 10月1日 社会福祉施設における介護等体験開始
- 10月4日・11日 他学科免許履修支援プログラム説明会
- 10月18日 教員採用試験模擬試験実施
- 10月18日 在学生向け教員採用試験に関する対策講座(時事通信出版局)
- 10月23日 長野県教育委員会による教員免許状年度末一括申請事務説明会
- 11月2日 長野県教育委員会による教員免許状更新講習に関する関係者打合せ会
- 11月8日 4年生対象教員免許状年度末一括申請 事務手続き説明会
- 12月3日 明星大学小学校二種免許状取得支援プログラム説明会
- 12月20日 文部科学省教職課程等に関する事務担当者説明会
- 12月20日 さいたま市教育委員会説明会
- 1月9日 明星大学通信教育部による卒業後免許取得にかかる説明会
- 1月12日 教員採用試験模擬試験実施

- 1月12日 第2回梓友会の開催 於：ホテルニューステーション「木葉」
- 1月21日 松本市教育委員会訪問(山崎・岸田・上條・田嶋)
- 2月18日 長野県教育委員会訪問(山崎・岸田・田嶋)
- 3月5日 松本市教育委員会訪問(山崎・岸田・上條・田嶋)
- 3月11日 2019年度教育実習履修許可者掲示
- 3月20日 長野県教育委員会・長野市教育委員会訪問(山崎・岸田・田嶋)
- 3月29日 教員採用試験対策講座実施

【教育学部教職センター】

- 4月10日 新入生への教職課程ガイダンス
- 4月17日 新入生への教職課程副免ガイダンス(Bクラス)
- 4月17日 松本市教育委員会訪問(川島・岸田・征矢野)
- 4月18日 塩尻市教育委員会訪問(川島・岸田・征矢野)
- 4月18日 安曇野市教育委員会訪問(川島・岸田・征矢野)
- 4月19日 塩筑校長会訪問(岸田・征矢野)
- 4月24日 新入生への教職課程副免ガイダンス(Aクラス)
- 4月24日 松本市校長会訪問(岸田・征矢野)
- 5月21日 安曇野市校長会訪問(岸田・征矢野)
- 5月23日 教育実習ガイダンス
- 6月13日 介護等体験ガイダンス
- 6月13日 学校インターンシップガイダンス(17A生)
- 7月3日 学校ボランティア活動ガイダンス①
- 7月10日 学校ボランティア活動ガイダンス②
- 7月12日 介護等体験(特別支援学校)開始
- 8月5日 介護等体験(社会福祉施設)開始
- 8月31日 学校インターンシップ事前ガイダンス(17A生)
- 9月3日 学校インターンシップ開始(17A生)
- 9月3日 学校インターンシップ巡視訪問開始(17A生)
- 9月25日 他学部での授業履修説明会 免許取得希望調査
- 10月4日 教育学部「学校ボランティア活動」開始
- 10月10日 学校ボランティア活動 小学校での活動開始
- 11月14日 学校インターンシップガイダンス①(18A生)
- 12月21日 教育学部「学校インターンシップ」自己開拓生への説明会①
- 1月16日 学校インターンシップガイダンス②(18A生)
- 1月20日 南箕輪村教育委員会訪問(征矢野)
- 1月31日 教育学部「学校インターンシップ」自己開拓生への説明会②
- 3月12日 箕輪町教育委員会訪問(征矢野)
- 3月20日 上田市教育委員会訪問(征矢野)

2019年度 教員採用試験結果

■現役生

- 長野県高等学校 養護教諭 二次合格
- 長野俊英高等学校 養護教諭 採用
- 加茂暁星高等学校 養護教諭 採用
- (以上3名合格)

■卒業生

H25年度卒業生	静岡県小学校	二次合格
H26年度卒業生	長野県栄養教諭	二次合格
H26年度卒業生	長野県高等学校(保健体育)	二次合格
H26年度卒業生	岐阜県小学校	二次合格
H27年度卒業生	静岡県小学校	二次合格
H28年度卒業生	山梨県小学校	二次合格
H28年度卒業生	新潟県中学校(保健体育)	二次合格
H29年度卒業生	長野県小学校	二次合格

(以上8名合格)

(3) 情報センター運営委員会

情報センターでは、通常業務として

①研究・教育の支援

パソコン教室整備、コンピュータ関連科目整備、オリエンテーション実施、学生アシスタント手配等

②情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバー類の維持管理、教職員パソコンの管理、貸出ノートパソコンの管理

③その他

資格取得支援管理、外部講習会の実施等
を行っている。

1) 委員会事業・活動

今年度も定期的に委員会を開催し(4月、6月、9月、11月、2月の5回)、学部・学科による様々な事情や教育方針の違いなどを考慮に入れて議論しながら、通常事業および新規事業を、若干予算の変更はあったものの計画通り実施してきた。その中でも、委員会で審議した結果、新規に実施してきた事業は以下のとおりである。特に、Office365メールアドレスの運用は、全教職員の業務にかかわる大きな変更であるため、慎重に議論を重ね、さらに教職員にも丁寧に説明を重ねることで準備を進めながら実施を行っている。

(1)教職員メールのOffice365化：教職員が業務で利用するメールをOffice365のメールに変更した。

(2)ノートPC貸出等の規程の整備：これまで内規として利用してきたものを、内容を見直すとともに規程として整備した。

(3)Wi-Fiのスポット化：資金的な面も考慮し、整備する場所に優先順位をつけ実施した。

(4)教職員のノートPC化：資金面やメンテナンスの面から、教職員の業務用のPCをノートPCにする準備を進めた。

(5)フィルタリングの設定：学内のネットワークにフィルタリングを行い、申請により解除する等のルールを構築した。

2) 外部講習会の実施

例年通り平成30年9月5日～6日にかけて、松本大学にてシニア大学の講義・演習を実施した。最近のIT事情についての講演に引き続き、パソコンの使い方、エクセルの使い方、ワードの使い方、写真の加工など、習熟度に応じたパソコン実習を実施した。

(4) 図書館運営委員会

1) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名(内1名健康科学研究科兼務)、教育学部教員1名、短期大学部教員2名(内1名館長兼務)、事務局1名・業務委託7名

2) 委員会開催

2018年5月17日(木) 15:10~15:50

- (1) 松本大学文献複写規程について、相互貸借に対応する詳細項目を加えた修正案が出され、審議の結果承認された。
- (2) 2018年度前期学科別学生図書の選定について審議、承認された。
- (3) 2018年1月~4月の活動報告、2017年度利用統計、図書館主催公開講座について報告された。

2018年7月26日(木) 15:10~16:00

- (1) 2019年度図書館雑誌およびデータベース等の見直しについて、今回の調査では継続を希望する雑誌等に○印をつけてもらうこととした。
- (2) 2018年度図書館要覧について、最終の校正を経て、製本・配布することを認められた。
- (3) 5月~6月の活動および4月~6月の統計報告がされた。
- (4) 今後の予定について、メディカルオンラインのデータベース講座への申込み人数と、蔵書点検に伴う図書館閉鎖が9月10日~14日になることが報告された。
- (5) 卒論貸出について、該当者は貸出冊数や機関に優遇措置が設けられるので、教員からも学生に周知してほしいとの依頼がなされた。

2018年10月16日(火) 16:50~17:30

- (1) 2019年度図書館雑誌およびデータベース等の購入について、審議の結果購入を認められた。一部、新規希望があった洋雑誌が高額だったため取り下げをお願いした経緯もあり、購入基準について継続して議論することとした。
- (2) 後期学科別学生用図書の選定について、残額と選定方法を示し、委員に取りまとめを依頼した。
- (3) 11月に実施する読書月間について、レポート論文の書き方講座への協力要請や広報活動を強化する等を確認の上、承認された。
- (4) 7月~9月の活動および利用統計、夏休みを利用して館内照明のLED化工事、Wi-Fi工事を行ったことが報告された。
- (5) 1階電動書架のカビを除去してから約1年経過するが、再びカビの数が増加傾向にあることが報告された。今後、除湿器の導入や空調設備の更新も検討することとした。

2019年1月8日(火) 16:50~17:45

- (1) 2019年度予算について、現在多くの大学図書館で採用されている「ラーニングコモンズ(LC)」を本学でも導入したいと、図書館長および事務局より提案がなされた。資料を基に審議し、仮に予算採用された場合、教員に意見を聞くことを条件に、新規予算として申請することを認めた。その他、委員から新たな要望があるか伺い、新規案件については上記の提案の他は、従来通りの予算申請をすることとした。
- (2) 10月~12月の活動および利用統計が報告された。
- (3) 読書月間について、今年は早い段階から準備ができ、充実した企画を実施することができたが、広報活動については課題が残ると報告がなされた。
- (4) 継続案件になっているマンガを購入すべきかについて、図書館スタッフで継続して検討をしていることが報告された。しかし課題が多く残るので継続して議論を重ねることを報告した。

3) 事業・活動内容

- (1) 図書館運営・サービスの方針および計画の審議
- (2) 図書館利用の促進
- (3) 学科別図書の選定および取りまとめ
- (4) 雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

4) 図書館サービス・図書館利用促進業務

(a) 2018年度利用実績

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
264日	68,482人	4,513人	8,550冊	1,852人

(b) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

4月24日(火)：松商短期大学部新入生図書館オリエンテーション(15分)

5月14日(月)：人間健康学部新入生図書館オリエンテーション(20分)

5月17日(木)：総合経営学部新入生図書館オリエンテーション(20分)

3月25日(月)：総合経営学部在学生進級図書館オリエンテーション(10分)

3月26日(火)：人間健康学部・教育学部在学生進級図書館オリエンテーション(10分)

3月27日(水)：松商短期大学部在学生進級図書館オリエンテーション(10分)

・ゼミナール別図書館ガイダンス

2018年度より、各自問題を解いて館内を回る体験型のガイダンスに変更。

4/10観光1年(尻無浜・八木・畑井・田開・白戸・中澤・今村・向井)、4/17総経1年(室谷・兼村・成・古川)、4/25スポーツ1年(田邊・丸山)、5/2スポーツ1年(犬飼・小松)、5/9スポーツ1年(岩間・山本・江原)、6/20短大1年(伊東)、6/27短大1年(糸井・飯塚・小澤)、7/4短大1年(金子・香取・川島・木下)、7/11短大1年(中村・中山・浜崎・廣瀬)、7/18短大1年(藤波・松原・山添・矢野口)

(c) 通常開館

開館9：00、閉館20：30(土曜日17：00)／長期休業中の閉館は19：00(土曜日17：00)

(d) データベース

2018年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経NEEDS-FinancialQUEST、⑩Eジャーナル(10タイトル、1パッケージ)

8月8日(水)：メディカルオンライン利用講習会 参加者23名

(e) 学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス(貸出ほか一部サービスを除く)を行っている。2018年度利用者は延べ762人であった。

2016年度から運用を開始した松本大学図書館ゲストカードの登録者は新規3名であった。

(f) 図書の充実・整理

2018年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和：4,568	洋：272	0	15	94	2
全：4,840					
和雑誌	洋雑誌				
531	34				

(g) 蔵書点検

9月10日(月)～14日(金)

2018年度点検対象資料：図書館排架の和書のみ。洋書・研究図書・書庫は未実施

(h) 学生利用促進企画

- ①短期大学部入学者全員に読書スタンプラリー用の1押印済みのポイントカードを配布。
- ②謎解きゲーム：4月10日(火)～5月18日(金)(参加者26名、クリア者9名)
図書館の利用促進および図書館知識を深めてもらう目的で開催
- ③授業サポート
 - ・教育学部1年生全員：4月17日(火)・24日(火)4限「図書館講習」
教室で資料種別・特徴・使い方を案内後、館内ツアー実施。
 - ・山田先生：10月8日(月)「バイオメディカル文献探索法」(受講生3名)
山田先生より依頼があり、データベース講習会を実施。レポート・論文の書き方とデータベースを使用した文献検索方法(Pub Med、医中誌web、Science Direct)。
 - ・レポート論文の書き方出前講座
教員から要望があり、レポート論文の書き方講座を各ゼミナールの時間に開催。アンケートに質問があったゼミには、後日質問の回答を配布。
6/20國府田ゼミ1年(5名)、6/26観光基礎ゼミ(約40名)(尻無浜、八木、畑井、田開)、7/3観光基礎ゼミ(約40名)(白戸、向井、今村、中澤)、7/24伊東ゼミ2年(13名)、10/24伊東ゼミ1年(14名)
 - ・教育学部1年生全員：11月21日(水)・28日(水)1限「レポート論文の書き方講座」
レポートの書き方+資料検索方法の説明。資料検索方法では実際にOPAC検索を行い、OPACの見方、本の探し方を説明。
- ④県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第31号～34号発行(年4回)
県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。
前期にヨムゾー目隠し本、10月に第6回ヨムゾー大賞を行った。
- ⑤グループ学習室利用：36日
- ⑥読書スタンプラリー実施(参加人数11名、レポート数44枚)
- ⑦前期レポート論文の書き方講座：5月21日(月)～5月25日(金)30分程度
図書館グループ学習室にて各回定員10名で募集、計26名の学生が参加
館内で関連資料の展示、講座終了後1階にコーナー常設。後期は読書月間の企画として実施。
- ⑧読書月間：11月1日(木)～11月30日(金)『秋は図書館で待ち合わせ!』
 - ・学生・教職員による本の紹介「おすすめの1冊」
 - ・企画展示：図書館で紅葉狩り、秋だ!ぶらり街歩き!
 - ・企画：i)レポート論文の書き方講座11月12日(月)～16日(金)60分程度
図書館グループ学習室にて各回定員10名で募集、計7名の学生が参加
ii)謎解きゲーム：参加者26名、クリア者3名(12月21日(金)まで延長)
iii)図書館食堂：展示してあるメニューをカウンターで注文して図書を貸出
iv)リサイクル図書市：除籍した資料を学生、教職員に無料で譲渡
- ⑨卒論貸出
 - ・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示、ホームページ案内、卒業研究担当教員にメール配信。
 - ・図書の貸出期間を1ヵ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。
 - ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に5冊まで、利用申請は9月より随時受付。
申請者37名(学部：犬飼ゼミ5名、清水・室谷・福島ゼミ各3名、根本・田邊・齊藤・石原ゼミ各2名、
廣田・矢内・長谷川・進藤・中島(節)・眞次ゼミ各1名／短大：中山ゼミ4名、小澤ゼミ2名、香取
ゼミ1名／科目等履修生2名) 図書91冊・雑誌4冊貸出
- ⑩延滞者督促メール配信、督促状配布
月に1度、1ヵ月延滞者、2ヶ月以上超過の学生にメール配信。また年に4回、2ヵ月以上超過の学生にゼミ担当より督促状を手渡ししていただくようにした。
- ⑪本の展示
就活関連、映画・ドラマの原作本、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、学内講演会関連本、災害・

防災の本、カエルの本、守先生の紹介する本(DOHC)、おみくじ&開運本 等
⑫ブログに本の紹介文アップ(読書月間時の本の紹介、司書科目受講生の紹介する本)

(i) 図書館広報関係発行物

「図書館利用案内2019」
「図書館だより」No.51～54(学生向け)
「図書館要覧2018年度版」

(j) 訪問巡回図書受け入れ

5月25日(金): 笠原書店・河出書房新社
6月5日(火): 笠原書店・朝倉書店

(k) 信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第16号、地域総合研究第19号、教育総合研究第2号アップ
2018年度の閲覧回数: 23,927回、論文等のダウンロード数222,461回
3月20日(水): 2018年度信州共同リポジトリ年度報告会出席(信州大学中央図書館)

(l) 図書館公開講座

5月26日(土): 「小説家という仕事」
講師: 碧野圭氏(作家)81名参加(学生50名、一般31名)
6月23日(土): 「日本十進分類法(NDC)新訂10版の概要と主な変更点」について話を聞こう
講師: 藤倉恵一氏(文教大学越谷図書館情報サービス係主任司書/日本図書館協会分類委員会委員) 40名参加
10月6日(土): 「『夜明けの図書館』で語るレファレンス・サービス論」
講師: 吉田倫子氏(元横浜市立図書館司書) 62名参加(学生31名、一般28名)

5) 資料・設備等の整備・管理業務

(a) 資料の整備

①進路に関するコーナー

例年通り、キャリアセンターと同じ資料を購入。2018年度末から2019年度初めに登録、排架。

②レポート課題調査・課題図書コーナー常設

前期と後期に教員と非常勤講師に調査を依頼。返信のあった教員に対し、図書購入や関係図書を集めてコーナーを設置。貸出期間、貸出冊数を制限し対応。また、課題図書コーナーを常設し、課題がないときは過去に課題となった本の一部を紹介するようにした。

③レポート・論文コーナー

情報収集について書かれている本を追加。「レポ論」「情報収集」シールを貼付し、資料を分かりやすく排架した。

④シラバス掲載図書コーナー

通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し、資料を探しやすくした。

⑤郷土資料のラベル修正

分類番号の前に「N」をつけ、著者記号2字採りに変更。3類～6類途中まで終了、引き続きデータ修正、ラベル貼り替え作業を行う。

⑥教育学部2年次資料受入(今年度で終了)

1月28日(月)、2月26日(火)納品、受入登録。

⑦棚担当をメインとサブの2人(または3人)体制にし、資料の見直しを進める。

(b) 設備の新設・更新

- ①カビ対策として電動書架洋書コーナーに小型扇風機2台設置
- ②館内Wi-Fi強化
- ③館内照明LED化工事：6月中旬から下旬の閉館後、9月11日(火)～14日(金)の休館時
- ④3階プリンタ廃止、出力先を2階認証プリンタIO-GATEに変更
- ⑤入退館ゲート定期点検(年2回)：12月26日(水)・3月6日(水)
- ⑥視聴覚コーナーのモニタ、デッキ(DVD・Blu-ray対応)を2台分購入

6) 教職員サポート業務**(a) 図書購入・図書費の管理**

2018年度研究図書費実績

(単位：円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
短大	商学	38,806	427,049
	経情	89,915	302,886
総合経営	総経	451,316	942,722
	観光	334,317	641,075
人間健康	栄養	82,226	209,599
	スポーツ	163,871	429,201
	研究科	197,671	362,209
教育	教育	530,735	1,335,848
合計			6,539,446
職員図書費			100,915

(b) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献依頼	相互貸借	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
76	5	0	7

(c) 司書科目授業協力

2月18日(月)～21日(木)・3月4日(月)司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。実習開始前の1月24日(木)に座学1コマ担当。実習は、実習生10人が1人12コマ。1コマ当たり2～5人を受入。内容は開館業務、排架、重複調査、発注、検収、受入、装備、見計らい選書、新聞整理、紀要・雑誌登録、展示コーナー作成等。

7) 総務的業務・他機関との連携**(a) 調査等への回答**

- 5月28日(月)：日本図書館協会・図書館調査票提出
- 10月18日(木)：朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答(Web)
- 12月7日(金)：文部科学省2018年度学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

(b) 規程類整備

- ・「松本大学図書館文献複写規程」改訂(2018年10月1日から施行)。

(c) その他

- 2月1日(金): 2018年度長野県図書館協会第3回常務理事会(館長参加)
- 10月11日(木): 長野県中信地区学校図書館教育研究大会(支援者として参加)

8) 職員研修

(a) 学外研修

- 6月8日(金): 2018年度私立大学図書館協会東地区部会総会・館長会
館長出席 東京(共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス)
- 8月30日(木)・31日(金):
第79回私立大学図書館協会総会・研究大会
館長出席 京都(龍谷大学 大宮キャンパス)
- 9月5日(水): 長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会 松本大学図書館
- 10月25日(木)・26日(金):
2018年度レファレンス・サービス研修 東京(国立国会図書館東京本館)
- 10月30日(火)・11月1日(木):
第20回図書館総合展 神奈川(パシフィコ横浜)
- 11月10日(土): 第68回長野県図書館大会 駒ヶ根市(赤穂中学校 他)
- 12月12日(水): 日経NEEDS-Financial Quest データベース講習会 松本大学
- 3月25日(月): 長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会 長野市(清泉女学院大学図書館)

9) その他

- 「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力
- 中学校職場体験学習: 7月19日(木)・20日(金) 梓川中学校2年生2名
11月15日(木)・16日(金) 筑摩野中学校2年生2名

(5) 国際交流センター運営委員会

1) 委員会開催

①全学国際交流センター運営委員会

- 4月19日 留学生前期授業料減免、海外留学奨学金等について
- 5月31日 韓国大学生就職支援を伴う交換留学、連携協定締結、日本語プログラム等について
- 7月5日 授業料減免規程の修正、スピーチ大会等について
- 9月20日 留学生後期授業料減免、海外協定校訪問等について
- 10月26日 協定、交換留学生への支援、チューター制度等について
- 11月23日 日韓大学3+1プログラム、海外協定校訪問報告等について
- 12月21日 留学生報告会、留学イベント、海外奨学金等について

②短大国際交流委員会

- 4月18日 海外大学との提携、英語集中学習等について
- 5月25日 学期を活用した留学プログラムについて
- 6月28日 中国の大学等との交流について
- 9月12日 留学支援型AO入試、海外大学視察報告等について
- 10月5日 義守大学との覚書締結、海外大学との協定締結等について
- 11月15日 海外大学との協定締結について
- 1月24日 学期を利用した留学の単位認定について

2) 事業・活動

- 4月1日 交換留学生来日受け入れ・入寮(中国嶺南師範学院5名、韓国東新大学2名、計7名)

- 4月2日 交換留学生オリエンテーション、買い物
- 4月4日 留学生・交換留学生顔合わせ会
- 4月6日 交換留学生松本市役所にて転入手続き
- 4月11日 私費留学生授業料減免面接 2名(矢崎センター長、中村委員)
- 4月12日 海外プログラム説明会
- 4月13日 松本市留学生応援ファミリーの会総会
- 5月18日 交換留学生・留学生歓迎会(新村国際寮)
- 6月4日～8日 パルドゥビツェ大学国際交流職員会議参加(関澤)
- 6月18日 外国人留学生就職支援セッション(東京ビッグサイト)
- 7月2日・3日 横浜市立大学・東京経済大学視察(矢崎センター長、関澤)
- 7月5日 留学生後期授業料減免面接審査
- 7月21日 松本市留学生スピーチコンテスト参加
1位 ヨウショウカさん(嶺南師範学院)
- 7月26日・27日 松本アルプスライオンズクラブの要請によるフィンランド人学生受け入れ
マティアス君来訪・体験授業参加
- 8月2日 長野県日中学術交流委員会(長野市/矢崎センター長出席)
- 8月10日 東新大学 柳准教授との情報交換会
(住吉学長、矢崎センター長、関澤)
- 9月4日 義守大学交換留学生受け入れ・入寮(3名)
- 9月6日 韓国 梅香女子情報高等学校教頭・教諭・学生(20名)来訪
- 9月10日 留学生日本文化フィールドトリップ(京都・奈良/9名参加)
- 9月26日 留学生住宅総合保障・学研災保険説明会(東京都/関澤)
- 10月8日～11日 パルドゥビツェ大学修復学部長、副修復学部長日本視察随行、来訪
(越前市、京都市、松本市/関澤)
- 10月26日 留学生応援ファミリーの会30周年記念大会参加
(松本市勤労者福祉センター/矢崎センター長、関澤係長、留学生・交換留学生5名
計7名参加)
- 10月27日 留学生対象ナガノジョブフェア
(長野市ビッグハット/留学生8名参加)
- 10月31日 日韓大学3+1プログラム制度説明会(東京都/関澤)
- 11月12日・13日 韓国 祥明大学、梅香女子情報大学視察訪問
- 11月16日 松本東ロータリークラブスピーチコンテスト参加
3位 トウギョウセイさん(嶺南師範学院)
審査員特別賞 ソユイジェさん(義守大学)
入賞 チンシュユさん(嶺南師範学院)
- 12月6日 台湾醒吾科技大学国際交流センター長、職員来訪(2名)
- 12月15日 松本ワイズメンズクラブ留学生作文コンテスト・創立30周年記念大会
(松本市/矢崎センター長出席)
20回記念会長賞 ソユイジェさん(義守大学)
山梨YMCA賞 ヨウショウカさん(嶺南師範学院)
佳作 リョウシケンさん(義守大学)
- 1月21日 駐新潟韓国総領事館副総領事来訪 3+1プログラム実施要請
- 1月25日 留学生思い出報告会・送別会(40名参加)
- 2月4日～16日 日本語ウィンタープログラム(義守大学学生2名参加)
- 2月21日 同窓会・村瀬組海外支援金贈呈式
- 3月4日～8日 義守大学表敬訪問・交流(矢崎センター長、関澤)

3) 海外大学との協定締結

- 2月 トンプソンリバーズ大学(カナダ)
- 3月 アベリストウイス大学(イギリス)

B 学生支援

(1) 学生委員会

1) 委員会開催

①全学学生委員会

- 5月10日 クラブサポーター、大学祭について等
- 6月27日 日本学生支援機構奨学金採用について、同好会結成について等
- 8月2日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援について、学生処分について等
- 10月3日 スポーツ特待資格継続、大学祭、学長賞選出について等
- 11月7日 大学祭開催報告、危機管理対策について等
- 1月9日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度について、日本学生支援機構奨学金継続審査について等
- 2月25日 強化部旅費内規について、クラブ・サークル部長委嘱について等

②学生委員会短大大会

- 4月6日 自己点検・評価報告について、学友会局員決めについて等
- 5月31日 夏季体育大会、全国私立短大体育大会について等
- 7月26日 湘北短大リーダーズキャンプ、リーダー研修会、長野県私立短期大学体育大会について等
- 10月3日 リーダー研修会開催報告、大学祭について等
- 11月15日 秋季体育大会、学友会改選の日程、湘北短大との交流会について等
- 1月24日 学友会引継ぎ、次年度の予定について等
- 3月6日 自己点検・評価作成、今後の学友会について等

③大学祭実行委員会

- 6月11日 学祭のテーマ、方針説明、主な企画内容について等
- 10月1日 進捗状況確認、模擬店、レンタル品のルールについて等
- 11月20日 反省事項について等

2) 事業・活動

- 4月3日 新入生オリエンテーション
- 4月4日 ウェルカムパーティー(全学)、短期大学部新入生歓迎会、短期大学部学友会、学生大会(1年生)、松本大学学生ガイドブック「START!!」発行
- 4月10日 日本学生支援機構定期採用者向け説明会(～13日)
- 4月10日 トレーニングルーム講習会(19日・5月15日)
- 4月16日 日本学生支援機構奨学金予約採用者スカラネット入力説明会(～20日)
- 4月26日 学部学友会学生大会
- 4月28日 人間健康学部フレッシュマンフェスティバル
- 5月3日 松本子どもまつり(雨天中止)
- 5月7日 日本学生支援機構奨学金定期採用者スカラネット入力説明会(～10日)
- 5月14日 日本学生支援機構奨学金定期採用者面接(～18日)
- 5月29日 短期大学部交通安全講話(1年生)
- 6月5日 短期大学部薬物防止講習会(1年生)
- 6月11日 日本学生支援機構奨学金予約採用者返還誓約書説明会(～15日)

- 6月20日 短期大学部1年学友会役員決め
- 6月25日 日本学生支援機構奨学金定期採用者返還誓約書説明会(～28日)
- 6月30日 短期大学部夏季体育大会
- 7月3日 学友会バーベキュー&花火大会
- 7月14日 総合経営学部・教育学部合同1年生フェスティバル
- 8月1日 学友会新聞「Page1」Vol.11(通巻114号)発行
- 8月4日 松本ほんぼん参加
- 8月6日 第53回全国私立短期大学体育大会
- 8月23日 湘北短期大学リーダーズキャンプ(～24日)
- 8月28日 第19期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終審査
- 9月7日 第23回長野県私立短期大学体育大会
- 9月18日 短期大学部リーダー研修会(～19日)
- 9月30日 学友会4学部合同体育大会
- 10月12日 大学祭準備、前夜祭
- 10月13日 第52回大学祭「梓乃森祭」(～14日)
- 11月14日 スポーツ健康学科1年薬物防止講習会
- 11月19日 学友会焼き芋大会
- 11月22日 学友会秋祭り
- 11月27日 短期大学部秋季体育大会
- 11月27日 総合経営学部1年生薬物防止講習会
- 12月14日 健康栄養学科1年生薬物防止講習会
- 12月15日 短期大学部学友会引継ぎおよび湘北短期大学との交流会
- 12月18日 学友会クリスマスパーティー
- 12月26日 学友会新聞「Page1」Vol.12(通巻115号)発行
- 1月8日 日本学生支援機構奨学金返還説明会(～11日)
- 1月15日 日本学生支援機構奨学金適格認定(継続願)手続説明会(～22日)
- 1月16日 学校教育学科1年生薬物防止講習会
- 1月16日 4学部合同体育大会
- 1月29日 短期大学部学生大会(2年生)
- 1月30日 短期大学部学生大会(1年生)
- 2月8日 4学部合同次年度学友会引継ぎ会(インフルエンザ蔓延のため中止)
- 2月21日 スノーボード教室
- 3月7日 第20期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終審査
- 3月15日 短大部卒業文集「学友」、総合経営学部卒業文集「モントレゾール」、人間健康学部卒業文集「SKY」発行
- 3月23日 短期大学部ウェルカムフェア
- 3月25日 消費者トラブル防止講習会(～27日)

3) 対外的活動

- 3月8日 松本子どもまつり実行委員会
- 4月12日 松本子どもまつり実行委員会
- 4月24日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 4月25日 あたらしの郷協議会地域振興部会
- 5月11日 あたらしの郷協議会総会
- 5月30日 街を花いっぱいにする会総会
- 5月31日 松本子どもまつり実行委員会

6月1日	あたらしの郷協議会地域振興部会
6月13日	長野県将来世代応援県民会議
6月19日	高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
6月27日	献血
7月13日	松本ほんぼん連長会議
8月4日	松本ほんぼん
9月2日	新村運動会
9月26日	高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
10月16日	高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
11月3日	新村文化祭(～4日)
2月19日	高等教育コンソーシアム信州学生支援部会

(2) 就職委員会

1) 委員会開催

①5月10日(木)

- ・大学のパンフレットへの掲載や対外的に公表する、前年度の内定率等の公表数値について審議の上、承認した。
- ・内定承諾書について、(1)学生が入社する意思を固めた上で提出することが原則であることを改めて確認した上で、(2)諸般の事情により判断が難しい場合にはキャリアセンターが窓口となって学生の相談対応を行い、個別に解決を図ることと決定した。
- ・文科省および厚労省からのジョブカードの活用に関する通達について、継続審議とした。
- ・「キャリアセンターの活動」、「就職指導・キャリア教育関連の授業・ガイダンス・就職合宿等を含む年間行事予定」、「学内合同企業説明会への参加状況」、「求人NAVIの導入」、「信州産学官連携インターンシップ事業」、「地元が遠方の学生に対する支援」等について報告がなされた。

②6月14日(木)

- ・キャリアセンターの業務内容の見直し、第2次中期目標にあるキャリア教育の今後のあり方として示された就職指導との区別等の観点から、キャリア教育に関する科目等の担当者をキャリアセンター職員から教員へ移行する方向性が示され、審議の上、この方向性で業務を進めることを承認した。なお、就職指導に関する内容については引き続きキャリアセンターに係ることとし、具体的には各学部の教務委員会の方針に沿って、来年度の開講に向けて計画を進める予定であることを確認した。短大部は既に教員へ移行する取り組みを進めていること、教育学部は学部の特性に応じて今後具体的な検討に入る段階であることなどが併せて報告された。
- ・「今年度の内定状況と就職活動状況」、「キャリアセンターの活動状況」、「平成31年3月開催予定の第1回学内合同企業説明会の日程変更の進捗状況」、「信州産学官連携インターンシップの参加申込状況及びマッチング結果」、「大学独自のインターンシップの推進」、「学部3年生のSPI模試の結果」、「学部3年生の夏季就職合宿」、「キャリア面談」、「戸田中央医科グループの採用状況」、「履歴書・エントリーシートの添削」のそれぞれについて、キャリアセンターより報告がなされた。

③7月12日(木)

- ・大学が独自に行うインターンシップ受入企業の開拓について審議した。企業に対しインターンシップ受入依頼のアンケートを発送し、受入可能な企業を把握した上で、企業と具体的な交渉を行うこととした。まずは実習期間を5日以上設けることのできる企業の把握に努め、依頼先は厳選しつつもできるだけ多くの企業を対象とすることとした。
- ・10月28日(日)開催予定の学部保護者就職説明会について、キャリアセンターより2通りのプログラム案が示された。各学部に持ち帰ったのち、再度審議することとなった。
- ・「キャリアセンターの活動状況」、「第3回学内合同企業説明会の参加状況等」、「夏季就職合宿の参加申込状況」、「信州産学官インターンシップのマッチング結果及び今後の予定等」、「内定状況」、

「キャリア面談」のそれぞれについてキャリアセンターより報告がなされた。

④10月3日(水)

- ・2019年度の年間予定案を審議した。3回目合同企業説明会(5月)、保護者就職説明会(10月)、就活セミナー(1・2月)、夏季就職合宿(9月)などの日程案が示された。各学部で検討し、次回委員会において継続審議することとした。
- ・「内定状況」、「学内企業説明会の実施状況」、「夏季就職合宿実施結果」、「保護者就職説明会の予定」、「企業・業界研究勉強会の予定」、「次年度のインターンシップ受入企業の開拓状況」、「次年度のキャリア教育関連科目担当者の決定に関する現況」、「キャリアセンターの活動」、「履歴書の西暦表示への変更」、「公務員採用試験の合格状況」、「インターンシップの参加状況調査」のそれぞれについてキャリアセンターより報告がなされた。

⑤11月7日(水)

- ・各学部の就職委員会およびキャリアセンターの意見を集約した上で、次年度の年間予定案について審議を行い、主な行事予定を決定した。また学部3年生保護者を対象とする保護者就職説明会は2018年度と同様に10月に開催する予定だが、2019年度からは学部2年生保護者も対象とする案が示され、審議の結果承認された。具体的なプログラムについては今後検討することとした。
- ・2019年度の就職活動支援に向けた行事予定および各種企画案が示され、審議の結果承認された。なお、必要に応じて企画等の追加希望があればその都度、提案・検討することとした。
- ・就職問題懇談会による「2019年度大学、短期大学および高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について(申合せ)」の趣旨をまとめた企業宛の要請文例が示され、次年度についても就職・採用活動の実情を踏まえて、現状通りの学生に対する就職活動支援を実施することとした。
- ・「内定状況」、「保護者就職説明会実施結果(学部3年生保護者)」、「保護者就職説明会の予定(短大1年生保護者)」、「企業・業界研究勉強会」、「インターンシップ受入企業の開拓状況」のそれぞれについてキャリアセンターより報告がなされた。

⑥1月9日(水)

- ・西暦表示に改定した履歴書を生協で販売することに伴い、生協での履歴書販売価格を改めて見直すことについて審議を行った。現状は1セット毎に販売手数料を大学から生協へ支払うことにより販売価格を抑えているが、来年度からは手数料の支払いを行わないことが承認された。コスト削減を前提に販売価格が上昇する可能性を含め、1セットに含まれる部数や価格はキャリアセンターから生協への交渉に一任することとした。
- ・学内合同企業説明会の参加希望企業が近年急増しており、第1体育館では収まらないため別教室を利用して対応しているほか、参加案内企業数を抑制している状況が報告された。そのため2019年度開催の学内合同企業説明会は1回目を2日間連続(2月末)、2回目を1日間(3月中旬)の年度内に計3回開催する案が示され、審議の結果承認された。これによりコストは現状のままで参加企業数が大幅に増え、学生の就職活動をさらに促進できることが期待できる。また参加案内企業の増加にあたっては、学生や学部・学科の要望に可能な限り努めて欲しいとの要望があげられた。
- ・「内定状況」、「保護者就職説明会実施結果(短大1年生保護者)」、「企業・業界研究勉強会の参加状況」、「求人公開の予定と作業手順」、「次年度インターンシップの受入回答状況」、「各種セミナーや就職支援活動の予定」、「学内単独企業説明会の予定」、「キャリアセンターの活動状況」、「ディプロマポリシーと関係した企業向けアンケート実施の現状と予定」のそれぞれについてキャリアセンターより報告がなされた。

⑦2月5日(火)

- ・韓国外交部、駐日韓国大使館からの「3+1方策」(韓国大学生が3年次以降に日本の大学に留学し、日本での就職に繋げる方策)への協力要請を受け、韓国からの交換留学生に対する就職支援の方法等について審議を行った。通常の就職支援プログラムに沿って一般学生と同様の支援を行うとする案が示され、審議の結果承認された。また、2020年4月から適用となる予定であることが報告された。

- ・ 認証評価におけるディプロマポリシーの検証を目的とした企業アンケート案が示され、修正点があればキャリアセンターへ連絡すると共に、アンケート項目の最終調整はキャリアセンターへ一任することとした。また、3月の学内合同企業説明会においてパイロット版のアンケートを実施する案が示され、審議の結果承認された。パイロット版のアンケートによって修正を加えた上で、正式な企業アンケートの依頼を行う予定である。
- ・ 就職支援講座等においてインフルエンザが原因と思われる欠席者が数名発生したことを踏まえ、今後インフルエンザ警報などの感染症情報が発表された場合の対応について審議を行った。感染症情報をはじめとする諸要因により迅速な行事等の中止を検討する際は、大学全体の動向を踏まえてキャリアセンターが判断し、就職委員会へ事後報告を行うとする案が示され、審議の結果承認された。
- ・ 「内定状況」、「キャリアセンターの活動」について、キャリアセンターより報告がなされた。

2) 事業活動

- ①年度内の求人受理件数(2019年3月現在、12,421件)
- ②学内合同企業説明会の開催(計3回、2018年6月16日、2019年3月6日、3月20日)
- ③保護者就職説明会の開催(学部3年生保護者向け：2018年10月28日、短大1年生保護者向け：2018年11月24日)
- ④キャリア面談の実施(新入生対象：2019年2月～3月、学部2年生対象：2018年5月、学部3年生対象：2019年2月、学部4年生対象：2018年8月～9月、短大1年生対象：2019年2月、短大2年生対象：2018年8月～9月)
- ⑤インターンシップ参加支援(参加学生総数13名：就職支援サイト経由のインターンシップ参加を除く)
- ⑥学内企業単独説明の開催(計47回)
- ⑦学生向け各種支援講座の開催(「夏季就職合宿」、「就活集中セミナー」、「就職対策講座」など、計6回)

3) 各学部の部会開催

- ①総合経営学部……………2018年8月30日、2018年12月19日
- ②人間健康学部……………2018年5月7日、6月11日、7月9日、8月30日、10月9日、11月13日、12月11日、2019年1月22日、2月7日
- ③教育学部……………2018年10月16日、11月8日、2019年1月10日
- ④松商短期大学部……………2018年4月4日、5月9日、6月6日、8月1日、10月2日、11月13日、12月11日、1月8日

2. 研究推進管理部門

(1) 研究推進委員会

(a) 委員会開催

平成30年4月25日(水)

- ・大学院健康科学研究科河野准教授から、日本医療研究開発機構(AMED)へ研究テーマを申請するにあたり、採択決定時には大学とAMEDとの間で委託研究開発契約の締結が必要となるため、申請に係る承認を得ておきたいとの申し出があり、承認された。なお、申請予定の研究タイプ(PRIME)の研究開発期間は3.5年以内、研究開発費は1課題当たり3~4千万円(通期の直接経費)、間接経費は研究開発費の30%(上限)、申請期限5月29日(火)である。
- ・平成30年度の私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」募集については、補助金説明会(6月5日開催)の後、委員会において協議を行うこととした。

平成30年6月27日(水)

- ・私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」募集について説明がなされ、審議の結果原案どおり承認され、全学協議会へ上程することになった。7月教授会にて周知のうえ、募集を開始する。

平成30年7月25日(水)

- ・私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」への申請案件について審議がなされた。申請のあった2件を以下に示す。

i) ①申請者：山田一哉

②行動研究機関：大阪大谷大学薬学部

③テーマ：AICARによるインスリン誘導性転写因子遺伝子の発現誘導機構の解析

ii) ①申請者：守 一雄

②共同研究機関：The University of Nottingham Malaysia Campus

③テーマ：共同目撃者間の同調に及ぼす話し合いの効果の国際比較

申請者による説明の後審議を行い、上記2件の取組みを私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることとした。

- ・委員長より、文部科学省より本学の研究倫理教育の受講率が低いとの指摘があり、平成30年8月24日(金)までに受講状況の改善がなされない場合には、詳細確認調査(査察)を行うとの通達があったことが報告された。日本学術振興会「研究倫理e-learning」の受講率が本学で低いことが指摘されていたため、未受講の専任教員に対して改めて受講依頼を行い対応するとの提案があった。

平成30年10月24日(水)

- ・学内研究費に係る平成30年度補正予算申請および2019年度予算申請等に係る日程について提案がなされ、審議の結果異議なく承認された。今後のスケジュールについては、平成30年11月1日付で全専任教員に案内通知を行うとともに、各学部教授会で報告を行うこととした。また、新任教員に対する学術助成研究費については、研究室セットアップ等に伴う経費として、従来通り一人あたり30万円を予算計上することを承認した。
- ・学内研究費取扱要項について審議がなされ、異議なく承認された。取扱要項は、学内研究費予算申請案内とともに配付する。

平成31年2月27日(水)

- ・公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書について、資料に基づいて説明があった。ガイドライン、誓約書等については、例年通り4月1日開催の合同教授会において配付・説明のうえ、提出を依頼することとした。
- ・委員長より、学内研究助成費の申請に関連して、100万円を超えるような高額申請が増加傾向であるとの報告があった。申請方法の見直し、限度額(最高額)の設定等について対応が必要ではないかとの問題提起があり、過去においては予算総額枠や学部ごと割当額があったとの経緯の説明がなされた。審議の結果、次回の研究助成費申請時まで上記の点について方針を定めることとした。

- ・委員長より、2019年度研究助成費について学長・大学委員長による査定結果を踏まえた研究助成費の委員会案の提案がなされ、審議の結果異議なく承認された。申請者には修正申請書の提出を依頼することとした。

(b) 事業・活動

- ・平成31年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知
- ・第7回松本大学教員研究発表会開催
平成31年2月27日(水)・28日(木)の2日にわたり、第7回教員研究発表会を開催した。研究助成金、地域志向研究費、大学間連携による共同研究などの成果として、昨年度より13演題多い46演題が発表され、充実した発表会となった。参加した教職員は両日とも50名を超え、延べ人数は110名ほどになった。また、タイムキーパーなど会場運営は、松本市インターンシップ事業に参加している特別調査研究員(本学卒業生)に依頼し、スムーズな運営を行っていただいた。

1) 研究誌編集委員会

(a) 委員会開催

平成30年4月25日(水)

- ・地域総合研究第19号の編集・発行作業に関連して、編集責任者に総合経営学部の室谷心教授が推薦され、承認された。また、地域総合研究第19号の執筆意向調査で、4月25日現在18件の執筆意向が寄せられていることが報告された。

平成30年6月27日(水)

- ・研究紀要等の英文タイトル表記について、誤表記を防ぐ目的でネイティブスピーカーによるチェックを導入することが提案され、審議の結果異議なく承認された。なお、表記チェックは教育学部のマーメット・ショーン准教授に依頼することとした。
- ・住吉学長より、研究誌の査読体制・方法等について、改めて意思統一を図る必要があるのではとの提案がなされた。審議の結果、平成29年度に明文化した「査読のあり方」を、全教員に配布し、周知をしたことを踏まえ、これに基づいて査読を行うことを確認した。

平成30年7月25日(水)

- ・研究誌の査読体制について、委員長より査読は「査読のあり方」に基づいて実施し、査読者と執筆者(投稿者)とのやり取りについては、編集長、編集責任者がサポートを行うことが報告された。また、教育総合研究第2号発刊に向け執筆意向を調査中であるが、教育学部から編集責任者を推薦するよう依頼がなされた。その後、守一雄教授の推薦があり、編集責任者を依頼した。

(b) 事業・活動

①「地域総合研究第19号 Part1」発行(編集責任者：室谷心)

- 4月2日 合同教授会にて執筆意向調査案内(4月6日締切)
- 4月6日 追加募集(追加募集締切4月16日)
- 5月8日 原稿締切
- 5月 提出原稿より査読
- 7月31日 発行

※論文5編、研究ノート4編、調査・事例報告4編、教育実践報告1編の合計14編を掲載した。さらに、第2部として平成29年度私立大学研究ブランディング事業の申請書「健康づくりを核に自治体・企業・医療機関と連携して進める元気な地域づくり」を、第3部としてⅠ.受託事業・教育事業報告、Ⅱ.地域総合研究センター特別調査・研究員活動報告、Ⅲ.ボランティア活動報告も併せて掲載した。

②「教育総合研究第2号」発行(編集責任者：守一雄)

- 7月18日 執筆意向調査案内(8月18日締切)

9月3日 原稿締切
9月 提出原稿より査読
11月30日 発行

※論文6編、研究ノート3編、調査・事例報告3編、教育実践報告2編の合計12編を掲載した。

③「松本大学研究紀要第17号」発行(編集責任者 尻無浜博幸)

11月1日 執筆意向調査案内(11月30日締切)
12月17日 原稿締切
12月 提出原稿より査読
3月8日 発行

※原著論文4編、研究ノート5編、調査・事例報告1編、教育実践報告1編、資料1編の合計12編を掲載した。

2) 松本大学出版会運営部会

(a) 委員会開催

平成30年6月27日(水)

・松本大学出版会からの出版希望申請のあった4件について、出版の可否についての審議が提案された。申請のあった4件を申請順に以下に示す。

- i)「教職課程コアカリキュラムに対応した教育心理学」守 一雄
- ii)「アクセシブル・ツーリズム ガイドブック INベトナム・ダナン編」尻無浜 博幸
- iii)「小学校社会科における価値判断の授業開発—包摂主義を基軸とした価値類型の有効性—」秋田 真
- iv)「災害のコミュニティ社会学」(仮題)木村 晴壽、尻無浜 博幸

審議の結果、秋田准教授の申請分については、博士論文原稿であることから、科研費(研究成果公開促進費[学術図書])への申請を促し、不採択の場合に出版会扱いとすることとした。

平成30年10月24日(水)

・松本大学出版会から、今後刊行予定の書籍2点の報告があった。

- i)東日本大震災時、宮城県石巻市における学生ボランティア活動等災害支援プロジェクト活動記録集(木村教授・尻無浜教授)
- ii)教育学部教員の教育・研究活動報告集(外部評価委員からの指摘・提言を受け、高校訪問等に活用)

(b) 事業・活動

- ・既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。
- ・以下の2点の出版を行った。

i)「教職課程コアカリキュラムに対応した教育心理学」

著者 守 一雄
定価 1,200円+消費税
本のサイズ A5判、並製本、本文176頁
発行年月日 2019年3月28日

ii)「松本大学・One dane Nihongo club 共同調査班制作 アクセシブル・ツーリズムガイドブックin ダナン」

監修 尻無浜 博幸
定価 本体600円+消費税
本のサイズ A5判、中綴、32頁
発行年月日 2019年3月30日

なお、平成30年10月24日(水)に報告のあった2点の書籍については、2019年度の発行を目指して準備している。

3) 発明管理部会

本部会は、平成28年8月1日に施行された「松本大学知的財産管理委員会規程」に基づいて設置された。本規定の目的は、松本大学および松本短期大学部(以下本学)の教職員等が創造した発明等の取扱いに関する基本的事項を規定し、その発明等を行った教職員等の権利を保障すると共に、知的財産権の適正な保護および活用を図ることにより、本学における学術研究の振興および社会貢献に寄与する、というものである。発明管理部会は、上記規定に基づき、本学における職務発明等に関する事項を審議するため設置された。

(a) 発明管理部会の構成と審議事項

本部会は、研究推進委員長、事務局長、学長が委嘱する学内外の有識者若干名によって構成され、部会長には研究推進委員長があたる。部会は届け出のあった事例について、職務発明の該当性や本学の知的財産権の承継等について審議することとされている。

(b) 活動

2018年度においては、特に発明の届出は無かったため、発明管理部会による審議は行わなかった。なお、本部会設置前の平成26年に人間健康学部水野尚子助手が出願していた、「食事用マットおよび食事シミュレーションツール、食事シミュレーションシステム」の特許が平成31年2月8日に登録、特許証が交付され、本学にとって最初の特許取得となった。今後特許申請数が増えるよう、本学関係者の研究により創造的な成果が得られた際には、申請を行うよう規定の学内周知をはかる必要がある。

4) 地域総合研究センター運営部会

(a) センター運営部会の構成

運営委員長(センター長) 1名

運営委員：教員 6名(総合経営学部2名、人間健康学部2名、教育学部1名、短期大学部1名)

特別調査・研究員：9名

事務局：9名

(b) 会議

(1) 運営部会 4月17日(火)

- ・特別調査研究員の採用選考について

地域連携(COC)戦略会議より推薦のあった特別調査研究員(継続6名、新規採用3名)について、審議の結果、本年度特別調査研究員として採用することが承認された。

《継続》

2期生：伊藤実沙子・一色美月

3期生：小林克己・中島麻衣・槇石和直・北原保奈美 以上6名

《新規》

奥原芳紀(H22年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)

丸山 隼(H29年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)

正木 輝(H29年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒) 以上3名

(2) 地域づくりインターン会議

年間を通して毎週水曜日に実施(年間43回)

内容/地域間情報共有、予定調整など

(c) 事業・活動

(1) 地域との連携事業

- i) 松本市との提携活動(継続事業)

a) 松本市地域づくり研究連絡会

担当：総合経営学部総合経営学科 木村晴壽教授

総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授

・地域づくり市民活動研究集会 平成31年2月17日(日)

集会名：未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

テーマ：(楽しく+前向きに)×みんなの実践=地域の未来

会場：Mウイング(中央公民館)

参加者数：400名

b) 観光ホスピタリティカレッジ企画・運営(事務局業務)

①観光ボランティアガイド養成講座

○2018年 観光ボランティアガイド養成講座「松本kirari案内人コース」(2018年2月～7月、全8講座)

講師：NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 高松伸幸氏、宮崎崇徳氏

※受講者20名とし、参加者多数(61名)のため抽選とした。

※2018年度は下記の第4構～8講を実施。

第4講：2018年4月17日(火) 会場：Mウイング

グループワーク「観光案内を想定したコースづくり」

第5講：2018年5月15日(火) 視察研修 場所：愛知県 国宝犬山城

第6講：2018年5月29日(火) 会場：松本市街地

フィールドワーク「観光案内実践①」

第7講：2018年6月12日(火) 会場：松本市街地

フィールドワーク「観光案内実践②」

第8講：2018年7月3日(火) 会場：Mウイング まとめ、修了式

○2019年 ガイドスキルアップ講座(2019年2月～7月 全11講座を予定)

※受講者20名

講師：NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 高松伸幸氏、宮崎崇徳氏

第1講：開講式(市民公開講座) 2019年2月19日(火) 会場：Mウイング

「世界でここでしか出せない唯一の料理を！～松本の食の可能性～」 参加人数：169名

講師：岩佐十良氏(株式会社自遊人代表取締役)

第2講：3月6日(水) 内容：「観光ガイドと街歩き」 場所：松本城、城下町

第3講：3月20日(水) 内容：講義「ガイドの心構え」 会場：あがたの森文化会館

※第4講～第11講については2019年度実施

②事業者専門講座

1)「外国人観光客の心をつかむ！取組みのヒント」

2018年10月30日(火)、2018年11月13日(火)会場：Mウイング 参加人数：計75名

講師：村山慶輔氏(株やまところ代表取締役)

2)「今なぜキャッシュレス決済が求められているのか？」

2019年3月19日(火) 会場：信毎メディアガーデン 参加人数：64名

講師：村山慶輔氏(株やまところ代表取締役)、本屋敷賢治氏(三井住友カード(株)地域振興室長)

③市民公開講座

・「外国人が魅了される禅と日本文化」 2018年6月22日(金)

会場：信毎メディアガーデン1Fホール 参加人数：80名

講師：松山大耕氏(妙心寺退蔵院副住職)

・「人の心をとらえて離さないおもてなしの極意」 2018年7月5日(木)

会場：Mウイング6Fホール 参加人数：120名

講師：高野登氏(人とホスピタリティ研究所所長)

- ・「温泉ビューティ～温泉でキレイと健康を～」 2018年11月29日(木)

会場：Mウイング3F大会議室 参加人数：50名

講師：石井宏子氏(トラベルジャーナリスト)

- ・「世界でここでしか出せない唯一の料理を！～松本の食の可能性～」2019年2月19日(火)

※2019年ガイドスキルアップ講座開講式として開催

ii) 地域づくりインターンシップ戦略事業

- ・内容：松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、今年度4期生として新たに3名を加え、地域総合研究センター特別調査研究員9名が松本市内の各地区地域づくりセンターを活動拠点として、地域づくりに関する研究活動等を行った。

・特別調査研究員・活動地区

2期生 伊藤実沙子：芳川地区担当

一色 美月：新村地区担当

3期生 中島 麻衣：庄内地区担当

横石 和直：本郷地区担当

北原保奈美：中山地区担当

小林 克紀：寿地区担当

4期生 奥原 芳紀：波田地区担当

丸山 隼：中央地区担当

正木 輝：中央地区担当

(2) 受託事業窓口業務

①平成30年度「松川村観光振興支援業務」

受託先機関：松川村

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授

②平成30年度キラリ☆アクア健康教室

受託先機関：筑北村

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一教授

③安曇野市子ども学習支援事業

受託先機関：安曇野市

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 尻無浜博幸教授

④生坂村連携・協力協定による活動

・生坂村通学合宿

担当：人間健康学部健康栄養学科 廣田直子教授

・「こたろう大学」

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 犬飼己紀子教授

・いくさか歩こう部講師派遣

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

⑤6次産業推進にかかわる研究開発業務

受託先機関：有限会社あづみの食品・株式会社まるたか

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授

⑥6次産業推進

受託先機関：齋藤農園

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授

⑦健康教室

受託先機関：長野県生活協同組合連合会

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授

- ⑧健康ウォーキング事業、ヘルシーウォーキング事業
受託先機関：国営アルプスあづみの公園管理センター
担当：担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授
 - ⑨親子プログラミング教室業務
受託先機関：安曇野市
担当：総合経営学部総合経営学科 室谷心教授
 - ⑩豆乳摂取が女子新体操選手の骨に与える影響について
受託先機関：マルサンアイ
担当：担当：人間健康学部スポーツ健康学科 中島節子専任講師
 - ⑪「子どもの育ちの環境づくりが地域興しに及ぼす効果」に対する研究助成
受託先機関：日本レクリエーション協会
担当：人間健康学部スポーツ健康学科 犬飼己紀子教授
 - ⑫里山を活用した環境教育プログラムの開発研究
受託先機関：きんたろう倶楽部
担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 田開寛太郎専任講師
 - ⑬ミニヨロン検証
受託先機関：日本電熱株式会社
担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授
- (3)松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動支援業務(運営管理と会計処理)
花山合宿支援／6月24日～26日(教員1名、学生4名)
- (4)『地域総合研究第19号』発刊
Part1(7月31日)
Part2(10月19日)
- (5)外部研究員2名の活動
- ①中野和朗 新聞等への投稿活動、キャリアスクールの資料作成
 - ③建石繁明 新聞等への投稿活動

(2) 研究倫理委員会

(a) 委員会開催

平成30年5月25日(金)17:00～17:40

- (1)委員会では、ヒトを対象とした申請研究が倫理的・法的および社会的観点から適正に遂行されるための要件を満たしているかを審議することを確認した。
- (2)学長が指名する大学院および各学部から選出された教員として山田一哉教授、室谷心教授、尻無浜博幸教授、河野史倫准教授、澤柿教淳准教授、飯塚徹准教授を、研究に関する倫理的および法的事項を総合的に判断するにふさわしい識見を有する者として福島智子准教授、増尾均教授を、一般の立場を代表する学外者として瀬川格淳氏(専称寺住職)を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3)下記の4件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
 - ①「脳活性エクササイズが認知機能に及ぼす影響について」
スポーツ健康学科 田邊愛子専任講師
 - ②「活動量計の活用が働き盛り世代の運動習慣の改善と身体面に及ぼす影響の探索」
健康科学研究科 根本賢一教授
 - ③「『研究ブランディング事業』における運動指導によるPOMS2を用いた気分状態の研究」
総合経営学科 矢崎久准教授
 - ④「豆乳飲用が女子新体操選手の骨に与える影響について」
スポーツ健康学科 中島節子専任講師

平成30年10月4日(木)17:00~17:25

(1)下記の2件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

- ①「Paraphrasing技法の習得がSpeaking能力に及ぼす影響」
学校教育学科 和田順一准教授
- ②「ブランディング事業に関わる働き盛り世代の栄養調査と栄養改善に向けた介入試験」
健康栄養学科 水野尚子助手

平成30年11月15日(木)17:00~17:10

(1)下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

- ①「地方圏における広告産業の変容に関する研究」 総合経営学科 古川智史専任講師

平成30年12月26日(水)17:00~17:10

(1)下記の2件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

- ①「がん患者の治療と就労に関する支援のあり方~医療関係者へのインタビュー調査から」
健康科学研究科 廣田直子教授
- ②「松本医療圏における在宅看取りの現状と課題について、介護支援専門員(ケアマネジャー)への聞き取り調査」 健康科学研究科 福島智子准教授

平成31年3月11日(月)(メール審議)

(1)下記の1件の申請について審議し、「非該当」とすることを確認した。

- ①「小学校3年生用集団式潜在連想テストの開発と試行」
教育学部 守一雄教授

(b) 委員会 事業・活動

特別なものはなし。

1) 動物実験部会

(a) 部会開催

平成30年6月19日(火)9:40~10:00

(1)部会では、従来通り動物実験の審査を厳格に行うことを確認した。

- (2)動物実験等に関して優れた識見を有する者として山田一哉教授・河野史倫准教授・澤柿教淳准教授・川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、実験動物管理者として羽石歩美助手・塚田晃子助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3)平成29(2017)年度自己点検・評価報告書について審議し、承認した。
- (4)「平成29年度飼養動物数」、「平成29年度動物実験教育訓練講習会受講者数」、「平成30年度承認動物実験計画数」、「平成30年度動物実験委員会構成」をHPに掲載したことが報告された。

平成30年9月10日(月)11:20~11:25

(1)下記の1件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ①「不飽和脂肪酸の寿命への影響を、キロシヨウジョウバエのインスリン受容体変異体を用いて調べる」 健康科学研究科 木藤伸夫教授

平成31年3月5日(火)15:10~15:15

(1)下記の5件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ①「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」
健康科学研究科 山田一哉教授
- ②「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」
大学院健康科学研究科 山田一哉教授
- ③「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
健康科学研究科 高木勝広教授
- ④「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」

健康科学研究科 河野史倫准教授

- ⑤「不飽和脂肪酸の寿命への影響を、キイロショウジョウバエのインスリン情報伝達系変異体を用いて調べる」 健康科学研究科 木藤 伸夫教授

(b) 事業・活動

平成30年5月23日(水)

- ・動物慰霊祭を開催した。

平成30年6月1日(金)

- ・公私立大学実験動物施設協議会総会に山田一哉教授と塚田晃子助手が参加した。

平成30年8月3日(金)

- ・教職員、院生、学部生を対象に第1回教育訓練を実施した。

平成30年10月2日(火)

- ・健康栄養学会学部生を対象に第2回教育訓練を実施した。

2) 遺伝子組換え実験安全部会

(a) 部会開催

平成30年9月10日(月)11:25~11:30

- (1)部会では、遺伝子組換え実験が安全に行われるように、遺伝子組換え実験計画および実験施設の審査を厳格に行うこと、および規程等の改訂を行うことを目的とすることを確認した。
- (2)遺伝子組換え実験等に関して識見を有する者として山田一哉教授、河野史倫准教授、澤柿教淳准教授、川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、学長から任命された安全主任者として浅野公介助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3)下記の1件の申請について審議し、承認した。

- ①「不飽和脂肪酸の寿命への影響を、キイロショウジョウバエのインスリン受容体変異体を用いて調べる」 健康科学研究科 木藤伸夫教授

平成31年3月5日(火)15:20~15:25

- (1)下記の6件の申請について審議し、承認した。

- ①「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」
健康科学研究科 山田一哉教授
- ②「新規転写因子ファミリー ZHX の生物学的役割の解析」
健康科学研究科 山田一哉教授
- ③「概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか？」
人間健康学部 浅野公介助手
- ④「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
健康科学研究科 高木勝広教授
- ⑤「酵母の形質転換」
健康科学研究科 高木勝広教授
- ⑥「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」
健康科学研究科 河野史倫准教授

(b) 事業・活動

特別なものはなし。

(3) 競争的資金事業推進委員会

1) 研究ブランディング事業推進委員会 (構成員：教員10名、事務局員9名 計19名)

本委員会は、15名の委員と4名の協力員によって構成されており、事業推進に関わる諸事項について

審議し、それぞれの円滑かつ効率的な解決、運用を図ることを目的に、適宜必要に応じて開催されている。今年度は、後述のように5回開催され、その都度の課題について議論し解決することによって事業のよりいっそうの推進に努めてきた。

以下、「(a)委員会開催」として、事業実施・推進2年目の今年度、1年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、また、「(b)事業・活動」として、(1)タグフィットネスの効果検証事業、(2)広報活動・ブランド調査、(3)事業推進体制の強化、(4)次年度に向けた事業拡大の取り組み、(5)その他の4点にまとめ、今年度の活動状況を概述する。

(a) 委員会開催

第1回 平成30年4月6日(金)14:00~16:00 欠席1名

〔審議事項〕

- (1)委員会の名称について確認
- (2)委員会事務局体制の確認と推進室の運用について審議、承認
 - 1)推進室の活動状況と連絡先
 - 2)委員会事務局体制の確認と推進室の運用
 - 3)事業専用ホームページの運用
- (3)講演会とパネルディスカッションについて審議、承認
 - 1)内容およびチラシの確認
 - 2)講演会当日までのスケジュール
 - 3)チラシ配布先など広報について
 - 4)講演会当日の準備および役割分担
- (4)研究体制・内容の確認について
 - 1)研究倫理審査
 - 2)3分野の進捗状況
- (5)ブランド調査の実施について(継続審議)
- (6)体力測定、データ管理、運動指導などに対する料金設定について(継続審議)
- (7)各種申請書類の整理について審議、承認
- (8)長野県原村等からの事業実施要請について説明、了承

〔報告事項〕

- (1)各種機器類の購入状況について

第2回 平成30年5月17日(木)17:00~18:00 欠席1名

〔審議事項〕

- (1)5月24日(木)開催の事業キックオフ・シンポジウムについて審議、了承
 - 1)現時点での参加者数(約100名)
 - 2)いっそうの参加者確保に向けて
 - 3)シンポジウム当日の進行予定
 - 4)当日の役割分担
 - 5)当日の駐車場・控え室等
 - 6)その他必要事項
- (2)第3回委員会において指摘のあった事項について院議、承認
 - 1)事業推進室と地域健康支援ステーションの関係
 - 2)事業と地域健康支援ステーションの料金設定
 - 3)繁忙期の人材(要員)確保
- (3)ブランド調査の実施について(継続審議)
- (4)「私立大学研究ブランディング事業 平成29年度の進捗状況」への記載・掲載とホームページでの公開について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 事業の取り組み状況について
- (2) 研究倫理審査について
- (3) 長野県「原村健康づくり推進事業」への協力について

第3回 平成30年8月9日(木)16:00~17:00 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 事業に係る各種料金設定の変更について審議、承認
- (2) 「健康経営セミナー2018」のライブオン上映について説明、承認
- (3) 「第3回世界健康首都会議」へのブース出展について説明、承認
- (4) 今後の取り組みについて審議、承認
 - 1) 来年度に向けた指導員の確保
 - 2) 県内企業への広報
 - 3) ブランド調査の実施
 - 4) ヘルスツーリズム
 - 5) 外部評価の受審と報告事項

〔報告事項〕

- (1) 事業に係るパンフレットについて
- (2) 事業の取り組み・進捗状況について
 - 1) 村瀬組対象の取り組み
 - 2) 池の平ホテル&リゾートの取り組み
 - 3) エア・ウォーターとの取り組み
- (3) 原村健康づくり推進事業について
- (4) 本学教職員からの「タグフィットネス」申込み状況について

第4回 平成30年11月26日(月)17:00~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 2019年度の事業計画について審議、承認
- (2) 2019年度予算案について審議、承認
- (3) 事業拡大に伴う推進室要員、協力員、派遣指導員の増員について
- (4) ブランディング事業HP公開について(継続審議)
- (5) その他
 - 1) ヘルスツーリズム企画、実施について報告、了承
 - 2) 本学教職員への活動量計の貸与について説明、了承

〔報告事項〕

- (1) 事業の取り組み・進捗状況について
 - 1) 村瀬組対象の取り組み
 - 2) 池の平ホテル&リゾートの取り組み
 - 3) エア・ウォーターとの取り組み
- (2) 企業ブランド調査について
- (3) 株ミズノとの契約について
- (4) 研究倫理審査について
- (5) 原村健康づくり推進事業について
- (6) 業務依頼書および業務報告書について
 - 1) 派遣指導員の事務手続(処理)フロー
 - 2) 委員・協力員の事務手続(処理)フロー

第5回 平成31年3月20日(水)15:00~17:30 欠席4名

〔審議事項〕

- (1) 原村との「春夏秋冬チャレンジプロジェクト」の業務委託契約について審議、承認
 - (2) 'S'ウエルネスクラブ松本(城西病院)への健康運動指導士派遣契約について審議、承認
 - (3) 2018年度事業報告について審議、承認
 - 1) タグフィットネスの効果検証事業
 - 2) シンポジウム・セミナー等の開催
 - 3) 推進室員の活動について審議、承認
 - 4) ブランド・アンケート調査の実施
 - 5) ヘルスツーリズムの企画
 - (4) 2018年度決算について審議、承認
 - (5) 2019年度事業計画について審議、承認
 - 1) 企業従業員を対象としたタグフィットネスの効果検証事業(継続)
 - 2) 企業従業員を対象としたタグフィットネスや体力測定の実施(新規)
 - 3) 自治体住民を対象としたタグフィットネスや体力測定の実施(新規)
 - 4) 摂取カロリー推定アプリの開発
 - 5) 「契約指導員」システムの整備
 - (6) 2019年度予算案について審議、承認
- [報告事項]
- (1) 研究ブランディング事業の打ち切りと関連説明会(平成31年月8日開催)について

(b) 事業・活動

- (1) タグフィットネスの効果検証事業
 - 1) 企業従業員対象
 - ・ 池の平ホテル&リゾート・エアウォータ(株)・(株)村瀬組など計17社363名
 - 2) 自治体(長野県原村)／1村100名
- (2) 広報活動・ブランド調査
 - 1) キックオフ・シンポジウムの開催(5月24日)／参加者約250名
 - 2) 大塚製薬との共催による「健康経営実践セミナー」
ライブオンセミナー開催(9月20日)／参加者約50名
 - 3) 「企業対象特別講座」(2019年2月4日)／参加企業5社
 - 4) 事業パンフレットの作成・配布(4000部)
 - 5) 事業専用ホームページの作成・公開
 - 6) 長野県内2,487社を対象としたブランド調査実施(回収数520件、回収率20%)
- (3) 事業推進体制の強化
 - 1) 事業推進室の設置と推進室要員2名の採用・配置
 - 2) 事業推進室と地域健康支援ステーションの関係調整
 - 3) 繁忙期における人材確保(派遣指導員の確保と事務手続の確立)
 - 4) 事業推進に要する機器類の購入
- (4) 次年度に向けた事業拡大の取り組み
 - 1) タグフィットネス等の実施にかかる料金の検討・設定
 - 2) 事業拡大に向けた人材のいっそうの確保
 - 3) ヘルスツーリズム実施に係る池の平ホテル&リゾート(株)との協議
 - 4) 企業および自治体への働きかけ・売り込み
 - ・ 予定企業・従業員数／21社約570名
 - ・ 予定自治体／3自治体約350名
 - 5) 推進室要員(運動指導士)の派遣業務受託
- (5) その他

- 1) 研究倫理審査受審・認可による研究推進体制の整備
- 2) 摂取カロリー推定アプリ開発に関する開発会社との協議・打合せ
- 3) 事業に対する外部からの調査・聞き取りへの対応
 - ・丹羽秀樹文科省副大臣(当時)(7月9日)
 - ・北海道科学大学(6月29日、2名)
 - ・田園調布学園大学(8月31日、5名)
- 4) 事業に関する講演会依頼への対応
 - ・長野県経営者協会・連合長野労使懇談会(8月22日)
 - ・長野県生活協同組合学習会(8月24日) 他
- 5) 事業参加者への便宜供与の取り組み
 - ・ミズノ(株)との協定による同社スポーツ用品の廉価提供
 - ・上記協定を通じた大塚製薬(株)のスポーツドリンク等の廉価提供

2) AP事業推進委員会 (構成員：教員7名、事務局員4名、計11名)

本委員会は、2016年度に採択された大学教育再生加速プログラム(通称：AP補助事業)を実施する委員会であり、教員7名と事務局員4名の計11名で構成されている。また、本学のAP補助事業の中心は、学修成果の可視化、主体的学びの促進、4学期制の導入と4学期制活用プログラムの開発、学修成果の社会への発信のためのディプロマサプリメントの発行、これらを実現するためのシステム改修、の5つであり、本学の教育全般に関係している。

以下、「(a)委員会開催」として、各会議において審議・承認された事項と主たる報告事項、「(b)事業・活動」として他大学の研修参加と本学でのフォーラムや外部評価委員会の実施について整理する。

(a) 委員会開催

第1回 平成30年4月25日(水)13:30~14:50 欠席：なし

〔審議事項〕

- (1) APフォーラムについて審議、承認
- (2) 指標検討委員会について審議、承認
 - 1) 役割や現在の問題・課題、今後の活動内容について確認
 - 2) ルーブリックの在り方については継続審議
- (3) コンピテンスの自己評価について審議、承認
 - 1) コンピテンスの教員評価、自己評価などを「ディプロマサプリメント」に記載
 - 2) 自己評価はGlexaで集計
- (4) Glexaの管理者権限の委員長への付与について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 平成29年度実績報告書について
- (2) 出張について
- (3) 今後の予定
 - 1) 学内基本システム、学修支援システムの改善・回収・調整
 - 2) FD・SD活動の実施
 - 3) 5段階成績評価分布の公表

第2回 平成30年5月30日(水)13:30~14:40 欠席：なし

〔審議事項〕

- (1) APフォーラムについて審議、承認
- (2) APパンフレットの作成について審議、承認
- (3) 第1回 AP外部評価委員会、第1回外部評価・助言委員会について審議、承認
- (4) FDの開催について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) メソフィアの改修について
- (2) 海外留学プログラムについて
- (3) 出張について
- (4) 今後の予定

第3回 平成30年6月27日(水)13:30~14:45 欠席:なし

〔審議事項〕

- (1) APフォーラムについて審議、承認
- (2) AP外部評価委員会、外部評価・助言委員会の内容について審議、承認
- (3) 学習目標到達度チェックシート・学習アンケートの実施について審議、承認
- (4) 専任教員アンケートについて審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 平成29年度フォローアップについて
- (2) 文部科学省 AP担当者からの経産省との連携について
- (3) 出張について
- (4) 今後の予定

第4回 平成30年7月25日(水)13:30~15:00 欠席:1名

〔審議事項〕

- (1) AP外部評価委員会、外部評価・助言委員会の進捗状況についての審議、承認
- (2) AP専任教員アンケートのまとめについて審議、承認
- (3) 企業アンケートの内容と実施について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 平成29年度のフォローアップの文科省提出について
- (2) 出張について
- (3) 今後の予定

第5回 平成30年8月27日(月)10:30~11:50 欠席:1名

〔審議事項〕

- (1) AP外部評価委員会、外部評価・助言委員会の当日の流れについて審議、承認
- (2) 4学期制の成果について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) APフォーラムについて
- (2) 学生アンケート等の結果について
- (3) 出張について
- (4) 今後の予定

第6回 平成30年9月26日(水)8:30~9:30 欠席:1名

〔審議事項〕

- (1) 第4回 APフォーラムの当日の流れについての審議、承認
- (2) ディプロマサプリメントのシステム上の発行について審議、承認
- (3) コンピテンス評価の実施機会とシステムの調整についての審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 学生カルテ、教員ポータル、学生ポータルでのコンピテンス状況確認について
- (2) 出張について
- (3) 今後の予定

第7回 平成30年11月1日(木)13:30~15:00 欠席:2名

〔審議事項〕

- (1) 第5回 APフォーラムの実施について審議、承認

(2) ディプロマサプリメントの発行のあり方について審議、承認(継続審議)

(3) 卒業生・企業アンケートの実施について審議、承認

〔報告事項〕

(1) 第4回 AP フォーラムについての実施報告

(2) 4学期制プログラム開発の進捗状況報告

(3) 学内基本システム(メソフィア)の改修について

(4) 出張について

(5) 今後の予定

第8回 平成30年11月29日(木)15:10~16:20 欠席1名

〔審議事項〕

(1) ディプロマサプリメントについて審議、承認

1) インターンシップの記載について

2) 証明書としての体裁について

3) 券売機での発行のあり方について

4) 特待生等の情報記載について

(2) 第2回 AP 外部評価委員会の日程と内容について審議、承認

〔報告事項〕

(1) 企業アンケートの結果報告について

(2) 学生のコンピテンス評価の集計結果について

(3) 平成30年度 AP 予算についての報告

(4) 出張について

(5) 今後の予定

第9回 平成30年12月20日(木)13:30~15:00 欠席:なし

〔審議事項〕

(1) AP 外部評価委員会の日程について審議、承認

(2) AP 全国シンポジウムの参加者について審議、承認

(3) 学生アンケートの実施日時について審議、承認

(4) AP シンポジウムのNHK エデュケーショナルでの作成と放映について審議、承認

(5) AP 予算で購入する書籍について審議、承認

〔報告事項〕

(1) 第5回 AP フォーラムの進捗状況について

(2) 文部科学省依頼のパンフレットの原稿内容報告

(3) 4学期制活用プログラム開発の進捗状況について

(4) 出張について

(5) 本学教員による AP 関連の招待講演について

(6) 今後の予定

第10回 平成31年1月24日(木)13:30~15:00 欠席:なし

〔審議事項〕

(1) AP 外部評価委員会の役割分担について審議、承認

(2) AP フォーラムの当日の次第について審議、承認

(3) 全国シンポジウム時に配布する冊子について審議、承認

(4) ディプロマサプリメントの発行スケジュールと記載内容について審議、承認

〔報告事項〕

(1) 文部科学省依頼のパンフレット記載用原稿の提出について

(2) AP 補助事業のシンポジウムのNHKでの放映企画の進捗状況について

(3) 出張について

- (4)4学期制活用プログラムとしての海外の大学とのMOUの進捗状況について
 - 1)オーストラリアン・カトリック大学：登録が終了し、5月にMOU締結予定
 - 2)英国・アベリストウイス大学：登録が終了し、3月にMOUを締結予定
 - 3)ドイツ・オスナーブリュック大学：安価な英語研修先候補
 - 4)ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学：ボランティア含むMOU検討
- (5)APに関連した本学教員の招待講演
- (6)今後の予定

第11回 平成31年2月19日(火)15:00~16:30 欠席：4名

〔審議事項〕

- (1)AP外部評価委員会次第について審議、承認
- (2)第5回APフォーラムのFD・SDとしての実施について審議、承認
- (3)卒業生アンケートの実施結果の報告とその対応について審議、承認
- (4)4学期制対応プログラム、「2+2」プログラム対応でシラバスの英文化を審議、承認

〔報告事項〕

- (1)出張について
- (2)ACUとのMOUの進捗状況について
- (3)今後の予定(NHK放映予定のシンポジウムの進捗状況報告等)

(b) 事業・活動

(1)外部評価委員会関係

- 9月4日(火)：外部評価・助言委員会
- 9月13日(木)：第1回AP外部評価委員会
- 2月26日(火)：第2回AP外部評価委員会

(2)APフォーラム関係

- 10月6日(土)：第4回APフォーラム
テーマ「欧州の教育改革と日本～我が国におけるディプロマサブリメントの役割」
- 3月7日(木)：第5回APフォーラム
テーマ「高大接続改革の現状と課題」

(3)本学教員による招待講演

- 5月15日(火)：湘北短期大学(於：湘北短期大学)
テーマ「松本大学松商短期大学部の教育」
- 2月21日(木)：九州龍谷短期大学(於：九州龍谷短期大学)
テーマ「松本大学松商短期大学部における『メモ力』育成の取組」
- 3月1日(金)：日本私立学校振興・共済事業団(於：大阪ガーデンパレス)
テーマ「松本大学松商短期大学部の教育改革—改革総合支援で加速する独自の教育改革—」
- 3月8日(金)：日本私立学校振興・共済事業団(於：上智大学)
テーマ「松本大学松商短期大学部の教育改革—改革総合支援で加速する独自の教育改革—」

(4)他大学フォーラム・研修会

- 8月24日(金)：APテーマV第1回地域別研究会・シンポジウム「卒業時における質保証の取組の強化」(於：日本赤十字九州国際看護大学)
- 9月10日(月)~11日(火)：チームAP合宿(於：神石高原ホテル)
- 12月7日(金)：高知大学・日本福祉大学共催AP事業シンポジウム「卒業後につながる学びの質保証～求められるコンピテンシーとは～」(於：高知市文化プラザかるぼーと)
- 12月14日(金)：地域科学研究会高等教育情報センター「高大接続・大学入試の新パラダイムを拓く」(於：日本教育会館)
- 12月14日(金)：茨城大学・東日本国際大学合同FD研修会「学修成果とアセスメントと教育改善～

国際的視点から」(於：茨城大学)

- 2月9日(土): 大阪府立大学・大阪市立大学・関西大学共催 AP 合同フォーラム「今、あらためて学修成果とは何かを問う：第3期認証評価の先のFDを目指して」(於：関西大学梅田キャンパス)
- 2月16日(土): 関西国際大学・宮崎国際大学共催 AP 合同シンポジウム「社会が求める力をどのように育成し可視化するか」(於：関西国際大学尼崎キャンパス)
- 2月20日(水): テーマⅡ・テーマⅤ共催シンポジウム「社会が求める高等教育の質保証を考える」(於：大阪工業大学梅田キャンパス)
- 2月22日(金): AP テーマⅣ FD・SD「地域と連携したアクティブラーニングについて」(於：長崎短期大学)
- 3月8日(金): 県立広島大学教育改革フォーラム「アクティブ・ラーナー育成に向けた『教・職・学』の協働」(於：県立広島大学)
- 3月13日(水): 玉川大学 AP フォーラム2018「学修成果の可視化～何を、何によって、どのように測定するか～」(於：玉川大学)
- 3月26日(火): 地域科学研究会高等教育情報センター「学修成果可視化の取組みと実際Ⅱ」(於：明治薬科大学)

3. 地域連携部門

(1) 地域連携 (COC) 戦略会議

(a) 委員会開催

第1回 平成30年4月11日(水)

〔審議事項〕

- ・平成30年度防災士養成研修講座について
- ・松本市地域づくりインターンシップ戦略事業について
- ・長野県防災士連絡協議会(仮称)の立ち上げとフォローアップ研修について

〔報告事項〕

- ・平成29年度予算執行結果について
- ・平成30年度COC+事業の補助金交付内定について
- ・防災事例視察計画について

第2回 平成30年5月9日(水)

〔報告事項〕

- ・松本市地域づくりインターンシップ戦略事業の特別調査研究員について
- ・平成28年度補助金(COC+)額の確定について
- ・防災士フォローアップ研修会開催について
- ・防災事例視察計画について
- ・第3回長野県地方創生推進協議会について
- ・諸行事

第3回 平成30年6月6日(水)

〔報告事項〕

- ・防災士フォローアップ研修会開催について
- ・COC+事業フォローアップへの対応について
- ・平成30年度防災士養成研修講座について
- ・諸行事

第4回 平成30年7月4日(水)

〔報告事項〕

- ・防災士フォローアップ研修会実施報告
- ・防災事例視察報告
- ・第3回長野県地方創生推進協議会について
- ・諸行事

第5回 平成30年10月3日(水)

〔審議事項〕

- ・地域連携関連の統括部署(委員会)について

〔報告事項〕

- ・平成30年度防災士養成研修講座実施報告
- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座開催(予定)について

第6回 平成30年11月7日(水)

〔審議事項〕

- ・2019年度地域連携関連の予算について

〔報告事項〕

- ・長野県危機管理部との協議について
- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座開催について

第7回 平成30年12月5日(水)

〔審議事項〕

- ・平成30年度補正予算(案)について
- ・地域連携委員会のあり方について

〔報告事項〕

- ・2019年度予算申請状況について
- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座について
- ・長野県防災士協議会について
- ・COC + フォローアップに係る現地視察の実施について
- ・地域連携活動状況

第8回 平成31年1月9日(水)

〔審議事項〕

- ・2019年度予算について

〔報告事項〕

- ・平成30年度補正予算について
- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座について
- ・防災に関する学習会の開催について(予定)
- ・COC + 事業外部評価委員会について
- ・地域連携活動状況

第9回 平成31年2月6日(水)

〔審議事項〕

- ・2019年度予算について

〔報告事項〕

- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座について
- ・防災士協議会について

第10回 平成31年3月6日(水)

〔報告事項〕

- ・2019年度予算について
- ・平成30年度第2回防災士養成研修講座について
- ・平成30年度COC + 収支決算見込みについて
- ・平成30年度COC + 事業外部評価委員会について
- ・平成31年度COC + 補助金調書について
- ・地域づくり考房『ゆめ』年間活動報告会について

(b) その他会議等参加

1) COC + 事業フォローアップに係る現地視察

日 時：平成30年12月27日(木)9：00～13：00

場 所：信州大学

出席者：木村・赤羽(雄)

内 容：平成29年度実施状況報告書に基づくヒアリング

2) COC + 事業外部評価委員会

日 時：平成31年3月18日(月)13：30～16：30

場 所：信州大学

出席者：木村・赤羽(雄)・赤羽(紀)

内 容：平成30年度活動報告資料に基づくヒアリング

(2) 地域防災対策委員会

本委員会は、本学における地域連携強化のために防災対策を切り口とした体制整備、防災訓練の計画と実施、また人材の育成を目的としている。無論、自然災害を想定した体制整備は本学だけに留まるものではないため、地域社会(具体的には松本市新村地区)との調整の中での取り組み、構築を主眼におきながら計画するものである。

(a) 活動

①防災士養成講座(日本防災士機構)開講

8月25日(土)・26日(日)、2月9日(土)・10日(日)の2日間ずつ2回開講

受講者多数に應えるため今年度から養成講座を2回開講した。ある自治体は自治体独自の取り組みとして養成講座に人材を派遣するなど団体、会社などへの普及が図られつつある。事務局体制を整えて開講に至った。

②防災士フォローアップのための組織化

防災士資格を取得後の研修を実施することで組織化を図る。そのため、まずフォローアップ研修会を実施した(6月30日)。これまで防災士の資格を取得した方を対象に長野県、日本防災士機構長野県支部等との共催で、本学で実施した。資格を取得しても活躍の場がないとのニーズに應えるもので研修会を通じた組織化を検討している。

③地域社会(松本市新村地区)との防災訓練の実施

7月に新村地区との合同訓練として、地域の施設である保育園児の救出、親への引渡し等、松本大学の学生がどのように関与できるかの訓練を行った。

今後、防災士の養成は、地域養成に加え、平成30年度から正課内授業で取り組みを開始、防災に関わる本学の取り組みが地域社会の牽引役になっていくことを目指すことになる。さらなる学生を巻き込んだ災害時の資源となり得る取り組みを構築するものである。

(3) 地域健康支援ステーション運営委員会

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進GP事業の採択を受け、本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導などの活動を本格的に開始した。GP事業終了後には、スポーツ健康学科含め、人間健康学部全体の教育や地域貢献との関わりを保ちながら独自の活動を推進してきた。平成25年度には同省COC事業の採択を受け、健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、地域からの要望に応じ、運動指導や体力測定などにも活動の幅を広げている。

活動に参加する学生は、地域における実践指導の体験等を通して、栄養や運動に関する専門的な学習を深める場を得ており、学生の育成と地域貢献を理念とした、健康づくりをめざした栄養と運動の両面からのさまざまな活動を行っている。

(a) 組織と会議

①組織：運営委員長1名(健康科学研究科教授) 委員5名(スポーツ健康学科長、総合経営学科・観光ホスピタリティ学科・学校教育学科から各1名) 事務局5名

②運営委員会：1回 5月10日

(b) 管理栄養士による実践的活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士)が実施した活動。

①4月3・4・6・7日 「ハイリスク学生個別栄養指導」

(依頼元：松本大学健康安全センター、対象者20名、指導教員：廣田直子)

②5月21日、6月5日 「血管若返り健康教室in信州」の講師

(依頼元：クラブツーリズム(株)池の平ホテル、対象者20名、指導教員：廣田直子)

- ③9月3日 「林業作業士初任者研修」の講師
(依頼元：(財)長野県林業労働財団、対象者39名、指導教員：廣田直子、参加学生4名)
- ④6月14日 「里山辺地区健康づくり研修会」の講師
(依頼元：松本市里山辺地区保健補導員、対象者30名、指導教員：廣田直子)
- ⑤8月30日 「健康づくり推進員研修会」の講師
(依頼元：山形村健康づくり推進委員会、対象者12名、指導教員：廣田直子)
- ⑥5月17日、8月2日、11月5日 「食べたら動こう！」の講師
(依頼元：自立訓練事業所あかしや、対象者45名、指導教員：廣田直子)
- ⑦7月17日 「基本的なクーリングダウン方法と補食について」の講師
(依頼元：上伊那農業高校、対象者40名、指導教員：廣田直子)
- ⑧6月28日 「夏バテ対策！栄養教室」の講師
(依頼元：塩尻市社協床尾分会、対象者10名、指導教員：廣田直子)
- ⑨12月6日 「保健補導員会研修会」の講師
(依頼元：南相木村保健補導員会、対象者9名、指導教員：廣田直子)
- ⑩12月13日 「和食を作ってみよう」調理実習の指導
(依頼元：日本語学習サロン、対象者14名、指導教員：廣田直子)
- ⑪3月4日 「保健補導員会研修会」の講師
(依頼元：御代田町保健補導員会、対象者28名、指導教員：廣田直子)

(c) 健康運動指導士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(健康運動指導士)が実施した活動。

1) 運動実践指導

【介護予防教室(通年)】

- ①「転ばんジェントルとレディーの会」の講師
5月16・30日、7月11・25日、8月29日、9月12・19日、11月14・28日、1月16・30日、3月13日
(依頼元：朝日村社会福祉協議会えべや かたくりの里、全12回、対象者延べ207名、指導教員：根本賢一、参加学生延べ1名)
- ②「健康教室」の講師
4月10・26日、5月8・31日、6月12・28日、7月10・26日、8月23日、9月4・27日、10月9・25日、11月13・22日、12月11日、1月8・24日、2月12日、3月12・19・28日
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会床尾分会、全22回、対象者延べ135名、指導教員：根本賢一)
- ③トレーニングマシンを用いた「健康運動教室」の講師
1月10・11・17・18・24・25・31日、2月1・7・8・14・15・21・22・28日、3月1・7・8・14・15・19・21・28・29日
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、全24回、対象者延べ209名、指導教員：根本賢一)
- ④「健康サポート教室」の講師
2月13・20・27日、3月6・20・27日
依頼元：甲信越エア・ウォーター(株)、全6回、対象者延べ51名、指導教員：根本賢一)

【介護予防講座(単発)】

- ①7月12日 「自分のからだを強化しよう！～転倒・要介護予防の身体づくり～」の講師
(依頼元：松本保健福祉事務所、参加者20名、指導教員：根本賢一)
- ②7月19日 「認知症・転倒予防と脳トレ」の講師
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会奈良井分会、参加者30名、指導教員：根本賢一、参加学生2名)
- ③11月17日 「お元気づくり広場」の講師
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会地域福祉推進センター、対象者50名、指導教員：根本賢一、参加

学生3名)

- ④12月6日 「運動による健康づくりで健康寿命を延ばそう！」の講師
(依頼元：松本市東部地域包括支援センター、対象者69名、指導教員：根本賢一)
- ⑤2月28日 「筋力アップ講座～いつまでも元気に歩こう～」の講師
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター洗馬、参加者12名、指導教員：根本賢一)

【健康講座】

- ①12月14日、2月8日 「効果的なウォーキング方法・冬の家トレ」の講師
(依頼元：原村福祉保健センター、対象者延べ15名、指導教員：根本賢一)
- ②10月6日 「楽々エクササイズ～音楽で楽しくエクササイズ～」の講師
(依頼元：信州メディビトネット、参加者15名、指導教員：根本賢一)

【レクリエーション指導】

- ①「精神障害者デイケアたんぽぽ」の講師
4月10日、8月1日、11月7日、2月6日
(依頼元：朝日村長、全4回、参加者延べ18名、指導教員：根本賢一)
- ②あかしや「食べたら動こう！」の講師
4月23日、6月5日、7月3日、8月27日、9月3日、10月3日、11月5日、12月10日、1月9日、2月4日、3月7日
(依頼元：村井病院自立訓練事務所あかしや、全11回、参加者延べ187名、指導教員：根本賢一、参加学生延べ1名)

2)健康づくり研修会

- ①8月30日 「健康づくり推進員視察研修」での運動指導
(依頼元：山形村健康づくり推進委員会、参加者12名、指導教員：根本賢一、参加学生延べ3名)
- ②12月6日 「保健補導員会視察研修」での運動指導
(依頼元：南相木村保健補導員会、参加者9名、指導教員：根本賢一)
- ③3月4日 「御代田町保健補導員研修会」での運動指導
(依頼元：御代田町保健補導員会、参加者28名、指導教員：根本賢一、参加学生延べ9名)

3)その他

- 7月7日 「基本的なクーリングダウン方法と補食について」の運動指導
(依頼元：上伊那農業高校、参加者延べ40名、指導教員：根本賢一)

(d) 学生との連携による実践的活動

地域や関係機関などからの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

1)メニュー開発、メニュー提案

- ①「松本山雅FC×松本大学コラボ スタめし新メニュー開発企画」 3商品完成
(依頼元：株式会社 松本山雅、指導教員：廣田直子)
 - a)6月19日 「企画説明会・勉強会」(参加学生8名)
 - b)6月23日 「販売現地見学会」(参加学生6名)
 - c)6月下旬～7月中旬 「アイディアの検討と提案」
 - d)8月上旬～9月下旬 「業者との打合せ」(3アイディア3業者、参加学生8名)
 - e)10月3日 「完成発表会」(完成品3商品、参加学生8名)
 - f)10月6日 「スタめし販売」(2商品販売、参加学生6名)
 - g)11月4日 「スタめし販売」(2商品販売、参加学生4名)
- ②「商品展示会における メニュー提案」 20アイディア提案

(依頼元：三陽商事有限会社、指導教員：廣田直子、参加学生7名)

a)6月28日 「企画説明会・勉強会」(参加学生7名)

b)9月12日 「商品展示会でのメニュー展示」

③「タウン紙2019正月号『残したい・伝えたい味』特集」 アレンジメニュー提案

(依頼元：松本平タウン情報MGプレス編集部、指導教員：廣田直子、参加学生5名)

a)12月7日 「企画説明・検討会」

b)12月14日 「試作検討会」

c)12月17日 「完成品の紹介・まとめ」

2)地域住民の健康づくり支援

①11月18日 「新村ニュースポーツ大会における体力測定ブース担当」

(依頼元：新村公民館、対象者65名、指導教員：根本賢一、参加学生8名)

②9月26日 「まつもとの街中でACE体験」

(依頼元：松本保健福祉事務所、対象者11名、指導教員：根本賢一、参加学生4名)

③7月15日 「まつもと広域ものづくりフェア パッククッキングブース」

(実施元：ものづくりフェア実行委員会、対象者18家族、指導教員：沖嶋直子、参加学生8名)

3)イベントへの協力

①7月11日 「がん患者支援イベント(リレーフォーライフ)ブース設営」協力打合せ

(依頼元：リレーフォーライフ実行委員会、参加学生1名)

②10月30日 「世界健康首都会議 健康弁当企画への参画」完成発表会プレゼンテーション

(依頼元：松本市健康産業・企業立地課、参加学生1名)

(e) サポート教員

①5月7日、8月3日 「地域課題研究B」の講義(現場実習の事前事後学習)

(指導教員：廣田直子、対象者：地域課題研究B履修生 1年生4名)

②11月23日 「大学入門」の講義 「行政栄養士の活動の実際」

(指導教員：矢内和博、対象者：人間健康学部健康栄養学科 1年生80名)

④12月7日 「臨床栄養学実習Ⅱ」の講義 「ロコモ度テストの演習」

(指導教員：藤岡由美子、対象者：人間健康学部健康栄養学科 3年生70名)

(f) その他の活動

①「一日限りのレストラン」運営支援 健康栄養学科主催事業、指導教員：成瀬祐子)

a)4月18日、5月6日・7日、8月8日 「打合せ会・試作等」

b)8月23日 「学内試食会・報道発表」(40食提供)

c)9月30日 「一日限りのレストラン 実施」(40食×2回提供)

②「食育情報提供」パネル展示

a)5月28日 「食育情報パネル展」 依頼元：松本市健康づくり課

b)11月18日 「信州の食を育む県民大会」 依頼元：長野県健康増進課

③学生引率ほか支援

a)11月11日 「市民参加料理コンクール」 主催者 松塩筑調理師会ほか

b)3月2日 「信州プレイブウォリアーズホームゲーム健康デー」

主催者 (株)信州スポーツスピリット

(g) 広報活動

①ホームページブログ記事更新(ステーションのページ掲載)

②「蒼穹」第131～134号原稿執筆

③3月26日「在学生オリエンテーション」ステーション活動紹介(対象者：新2・3・4年生)

(4) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

(a) 考房『ゆめ』利用促進事業

(i) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション

4月4日(水) ウェルカムパーティーにて 学生プロジェクト紹介(こどもあそび隊、キッズスポーツスクール、Sign、松本BBS会、ええじゃん栄村、◎いただきます!!、すすき川花火大会プロジェクト、「ゆめ」編集、あるぷすタウン、キッズホッケー)および地域連携事業(松本かえるまつり、ワンハートまつもと)

(ii) 講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介

4月10日(火)・17日(火) 「基礎ゼミナール(総合経営学部)」各ゼミナール担当教員

4月24日(火) 「基礎ゼミナール(松商短期大学部)」各ゼミナール担当教員

5月21日(月) 「地域社会と大学教育(人間健康学部)」住吉 廣行 学長

5月24日(木) 「地域社会と大学教育(総合経営学部)」住吉 廣行 学長

5月25日(金) 「基礎ゼミナール(人間健康学部 健康栄養学科)」各ゼミナール担当教員

5月30日(水) 「地域社会と大学教育(教育学部)」住吉 廣行 学長

(iii) 学生企画による「ゆめカフェ」開催

4月6日(金)～7日(土)、16日(月)～19日(木)

(iv) 平成30年度地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
71件	33件	177人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

(b) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

(i) 学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(7プロジェクト…具体的内容は後述の「(3) 考房『ゆめ』自主事業 1)30年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度」参照のこと)

(ii) 地域からの依頼事業への参加…全33件 ※詳細は学生版アニュアルレポートに記載

個人参加：延べ177人

学生プロジェクトによる参加：延べ5団体

(iii) 地域とのパートナーシップ事業(2プロジェクト)

4月～：すすき川花火大会プロジェクト

花火大会とのコラボ企画立案と運用、広報活動への参画、事務局と一緒に花火大会を運営。
[学生・すすき川花火大会実行委員会]

4月～：松本BBS会

少年少女の成長の手助けと非行のない地域社会を目指す。 [学生・社会人・保護司会]

(c) 考房『ゆめ』自主事業

(i) 平成30年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

【前期審査会：4月23日(月)～25日(水)実施】 応募プロジェクト：6 認定プロジェクト：6

①松本大学こどもあそび隊(18,000円)

0～5歳児の親子を対象に、多くの人とふれ合える場「こども広場」を提供する。

②Sign(32,000円)

聴覚障がいやそれ以外の障がいを持っている方と関わり、学んだことを地域に伝えることで

聴覚障がいをはじめとした障がいへの理解を広めていく。

③ええじゃん栄村(25,000円)

栄村の地域活性化へ協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。

④◎いただきます!!(100,000円)

食を通じて地域住民および子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。

⑤「ゆめ」編集(97,000円)

地域と学生をつなぐ情報冊子「volere!!」の製作

⑥キッズホッケー(80,000円)

子どもたちにホッケーを通して身体機能を高め、体を動かす大切さを知ってもらうべく、ホッケーから仲間、道具、ルールの大切さを学んでもらう。

【後期審査会：9月11日(火)実施】 応募プロジェクト：1 認定プロジェクト：1

①あるぷすタウン(100,000円)

子どもが楽しみながら仕事をし、社会の仕組みを学び、子どもの頃から地元に興味を抱く場をつくる。

【報告会開催：2月28日(木)実施】

①松本大学こどもあそび隊(交付奨励金額18,000円、収入2,900円 決算額10,224円)

- ・0～5歳児の親子を対象に、多くの人とふれ合える場「こども広場」を年3回開催し、工作や歌、読み聞かせなどを行った。
- ・新村地区の未就学児のママさんサークル・ひよこの会と連携して、新村公民館福祉ひろばを会場に異年齢間での交流を実施した。

②Sign(交付奨励金額32,000円、収入1,000円 決算額3,474円)

- ・手話学習会などの継続に加えて、障がい者が関わる各種イベント参加を通じて多くの団体や個人と交流し、障がいについて幅広く学べた。
- ・学内バリアフリー調査を実施し、調査結果を新村文化祭で展示発表した。

③ええじゃん栄村(交付奨励金額25,000円、収入23,600円 決算額47,780円)

- ・栄村の現状・魅力を知るために秋冬と訪問し、栄村の方々と交流を行った。
- ・訪問時に撮影した写真を学内展示し、魅力の発信を行った。

④◎いただきます!!(交付奨励金額100,000円、収入174,900円 決算額259,479円)

- ・新村児童センターの児童を対象とした子供料理教室を開催した。
- ・新村地区の生産組合であるくれき野やさいクラブと協同で古代米ドーナツの商品開発を行い、市販化された。

⑤「ゆめ」編集(交付奨励金額97,000円、収入0円 決算額96,720円)

- ・地域と大学の距離を近くする情報冊子となるよう、地域行事へメンバーが積極参加し、記事に反映させた。
- ・アンケートを実施し、記事に読者のニーズを大きく反映させるとともに、アンケート依頼時に地域住民の方々と意見交換する機会を作ることができた。

⑥キッズホッケー(交付奨励金額80,000円、収入0円 決算額71,682円)

- ・新村地区児童センターと連携し、週1回キッズホッケー教室を実施、3月にはリーグ戦「松大カップ」を開催した。
- ・お楽しみ会やハロウィンパーティーなど、新村地区児童センターで行われる催しの開催協力も行った。

⑦あるぷすタウン(交付奨励金額100,000円、収入0円 決算額64,515円)

- ・「第5回あるぷすタウン」を平成31年2月16日(土)・17日(日)に開催予定だったが、インフルエンザ流行拡大防止のため中止した。
- ・平成31年9月の延期開催を目指し、年度をまたいで活動を継続していく。

(ii)第52回梓乃森祭 ゆめひろば開催

開催日：10月13日(土)・14日(日)

場 所：松本大学5号館

内 容：活動紹介パネル数：10プロジェクト、コーナー出展数：2プロジェクト

- ・展示コーナー：学生プロジェクト活動紹介パネル、みすず屋活動紹介パネル、すすき川花火大会写真・絵画コンテスト入賞作品、松本市環境政策課による「みんなで減らそう食品ロス」パネル、松本市青少年ホーム活動紹介パネル、松本市波田地区 消費者の会による再生食器ができるまでの展示・不用食器の無料配布(学生1名サポート)
- ・販売コーナー：第2コムハウス、障害者就労支援施設 森のこびと、新村地区マーブルの会(学生5名サポート)
- ・子ども向けコーナー：上高地線応援隊によるプラレールで遊べるコーナー、アルプちゃん(学生2名サポート)
- ・無料湯茶おやすみ処：新村地区マーブルの会(学生5名サポート)

参加団体：18団体(学生プロジェクト：10団体、地域：8団体)

支援内容：プログラム内容相談・調整

(d) センター組織の整備充実

(i) 学生の活動への支援体制の充実

学生スタッフの配置

内 容：ゆめ学生スタッフ7名(情報収集・発信・イベント企画・運営・実施)

(ii) 各種会議開催

- ・運営委員会：年7回
- ・職員会議：4月～2月、週1回
- ・学生スタッフ会議：年15回(4月～3月、月1～2回)
- ・リーダー会議：年5回
- ・応急手当・心肺蘇生講習：前半6月18日(月)、21日(木) 後半6月27日(水)、7月2日(月)

(iii) 研修・交流

- ・平成30年度大学間地域連携活動研修会 8月31日(金)～9月1日(土)

会 場：松本大学、国立信州高遠青少年自然の家

参加者：96名(学生80名、教職員16名)

松本大学48名、長野大学6名、共愛学園前橋国際大学27名、田園調布学園大学15名、

テーマ：PB(プロジェクト・ビルディング)

内 容：各校地域連携活動団体による活動報告、グループディスカッション、グループワーク、交流会

グループワークファシリテーター 株式会社スマイル・ラボ 岡本 真祐子氏

- ・平成30年度『ゆめ』活動報告会 平成31年2月28日(木)

参加者：105名(学生66名、一般28名、教職員11名)

内 容：活動報告(12団体：こどもあそび隊、キッズスポーツスクール、Sign、松本BBS会、ええじゃん栄村、◎いただきます!!、すすき川花火大会プロジェクト、「ゆめ」編集、あるぷすタウン、キッズホッケー、「茶房みすゞ屋」、サンタ・プロジェクト・まつもと)、意見交換、講評 他

(iv) 視察・研修等受け入れ

- ・視察 1件

岡学園トータルデザインアカデミー 越 将俊氏(3月27日(水))

- ・聞き取り調査協力 1件

上越教育大学大学院 杉本 圭志氏

実施日：8月31日(金)、10月4日(木)、11月8日(木)

対象：すすき川花火大会プロジェクト(学生6名、職員1名)

(v) 視察

- ・ 千葉市こどものまちCBT(会場：千葉市きぼーる3F 千葉市子ども交流館)
日程：8月25日(土)・26日(日)
参加者：学生22名、教職員5名
- ・ 共愛学園前橋国際大学
日程：12月21日(金) 参加者：教職員3名

(vi) 広報関係

①大学の発行物

- ・ 発行物／ゆめ通信(第41号～第43号)、平成30年度大学間地域連携活動研修会活動報告集、平成30年度活動報告、Volere!! vol.8(学生プロジェクト「ゆめ」編集)
- ・ 学内発行物／蒼穹(第131号～第134号)への活動紹介記事掲載
- ・ ウェブサイト／ゆめHP、学生ブログによる情報発信

②メディア関係

- ・ ラジオ
FM まつもと 6月～9月 すすき川花火大会宣伝CM
- ・ 雑誌
教育展望 6月号(第64巻 第5回)学校の教職員の「多忙格差」の実態と改善策
- ・ 新聞
朝日新聞 12月24日(月) 松本BBS会
信濃毎日新聞 5月19日(土) 学生スタッフ柴田文(観光2年)
 7月6日(金) あるぶすタウン
 8月11日(土) すすき川花火大会プロジェクト
 11月28日(水) 地域連携事業：サンタ・プロジェクト・まつもと2018
MG プレス 4月28日(土) ゆめカフェ(新入生向け活動紹介)
 5月9日(水) 学生スタッフ 柴田文(観光2年)
 5月12日(土) 「ゆめ」編集
 5月19日(土) キッズスポーツスクール
 11月3日(土) 地域連携事業：みすず屋
 11月17日(土) キッズホッケー
 12月4日(火) 地域連携事業：サンタ・プロジェクト・まつもと2018
 1月15日(火) ◎いただきます！！
中日新聞 8月8日(水) ◎いただきます！！
 10月5日(金) ◎いただきます！！
中日新聞月刊『Syun!』 9月号 ◎いただきます！！
市民タイムス 5月18日(金) 学生スタッフ 柴田文(観光2年)
 7月4日(水) キッズホッケー
 7月28日(土) すすき川花火大会プロジェクト
 8月31日(金) ◎いただきます！！
 10月6日(土) ◎いただきます！！
 10月11日(木) 地域連携事業：CoderDojo松本@松本大学
 10月12日(金) 地域連携事業：おみ光のページェント
 10月30日(火) すすき川花火大会プロジェクト
 11月6日(火) キッズホッケー
 11月29日(木) 地域連携事業：サンタ・プロジェクト・まつもと2018
 11月29日(木) キッズスポーツスクール

12月23日(日) ◎いただきます！！

妻有新聞(新潟県地方紙)

1月19日(土) ええじゃん栄村

2月2日(土) ええじゃん栄村

月刊イクジイ

4月号～平成31年3月号

学生主催イベントや梓乃森祭の案内、プロジェクトの活動紹介

(5) 高大連携推進委員会

(a) 委員会の運営

高大連携推進委員会は、総合経営、人間健康、教育、松商短大の4学部から6名の教員が委員となり、管理課に事務局を置き運営している。高大連携の取組は学部・学科毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図っている。当年度の連携事業は、昨年度と同様、総合経営学部においては県内商業高校を中心としたデパートサミット事業と飯田OIDE長姫高校との地域人教育事業、人間健康学部スポーツ健康学科は岡谷東高校との連携事業、松商短大は穂高商業高校との連携事業を行った。なお、委員会としての活動は、昨年度と同様に、主として情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとった。

(b) 活動内容

1) 総合経営学部

総合経営学部では今年度、以下のとおりの取組を行った。

① デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。

【第6期 2017年12月～2018年10月】

第6期として9回にわたりマーケティング塾を開催し、その成果の発表として、8月に井上百貨店にて、「デパートゆにっと」として3日間実施し、高校生が県内の9校から50名、教員29名が参加した。また県外より3校の高校も参加した。

【第7期 2018年12月～2019年3月(継続中)】

第7期のマーケティング塾として3回(2019年3月まで)実施し、高校生が8校から56名、教員28名が参加した。平成28年度より松本大学は事業の支援にとどまらず、学生組織「ゆにまる」の学生が高校生と一緒に学び、具体的な活動に取り組んでいる。「ゆにまる」は、高校時代にデパートサミット事業に参画し、卒業後に本学に進学した学生を中心にデパートサミット事業を支援することを目的とした学生組織であり、商品開発等を行うなど主体的にデパートサミット事業に参加している。

【バレンタインスイーツ販売 2019年2月9日・10日】

2日間にわたり、諏訪実業高校、穂高商業高校、長野商業高校、南安曇農業高校、赤穂高校と短期大学部金子ゼミ、「ゆにまる」など約80名が参加して商品開発を行ったスイーツの販売をアイシティ21(井上百貨店)にて行った。事前の準備として商品発表会等を行った。

② 地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校が開始した地域社会に貢献できる「人材」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、2012年度に飯田長姫高校(当時)、飯田市、松本大学による「地域人教育

の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

「地域人教育」では、1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」。2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」。3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。

本年度は、総合経営学部より述べ6名の教員が高校で講義や実習指導を行ったほか、松本市内におけるフィールドワーク実習や高校生の活動を大学生が評価する交流事業などを実施した。

また、地域人教育の円滑な推進のために、高校教員や飯田市職員との協議や学習会、研修などを行い、信頼関係を構築するとともに、事業の目的などの共通理解を図った。

③高校と地域の連携教育への支援および高校教員の研修など

2016年度県内の高校としては唯一のコミュニティ・スクールとして「国際観光学科」を新設した白馬高校の学校運営委員会・会長を派遣した他、諏訪実業高校に対しては、「スーパープロフェッショナル・ハイスクール」事業の「文化ビジネスエキスパート育成事業」に対し、講義の実施や研究推進委員会・運営指導委員会への委員の派遣を行った。

また高校の教員を対象としてマネジメントゲームに関する研修会等を開催した。

2)人間健康学部

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いを行い、翌年6月に試行的に高校生が大学の講義を受講した後、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定を締結し、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は10年目の活動となった。具体的には、以下のとおり、高校1年生および2年生が本学に来学し、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」、「生活」について理解すると同時に、運動やスポーツに関する専門的内容に触れることを狙いとした。また、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験した。

①大学授業チャレンジ型連携(松本大学にて12講座1時限60分)

6月21日(木)

1年生50名：根本賢一「効果的なトレーニング法～スポーツ医科学面から」、齋藤茂「スポーツ心理学入門」、中島節子「からだのしくみ～健康なからだをつくる～」

2年生35名：新井喜代加「ジェンダーとスポーツ法」、山本薫「科学的トレーニング」、田邊愛子「スポーツ選手に必要な体脂肪率とVO₂max」

9月13日(木)

1年生50名：岩間英明「スポーツの技術分析」、丸山文男「上高地線電車の運動解析」、中島弘毅「遊びの先の学びについて考える！」

2年生35名：小松茂美「『教職論』模擬授業」、江原孝史「肥満と生活習慣病」、河野史倫「宇宙生理学」

②教員実務参加型プログラム(岡谷東高等学校にて)

2月15日(金) 学生4名(スポーツ栄養学：2限、保健体育：3、5、6限)

2月18日(月) 学生4名(保健、福祉：2限、体育：3限、体育：5限)

2月19日(火) 学生4名(スポーツ栄養学：1限、保健体育：2、3、4限)

2月20日(水) 学生5名(保健体育：1、2、3、5限)、

2月21日(木) 学生2名(保健体育：1、2、3限、ロングホームルーム：4限)

参加学生は「教職の学びに参考になった。来年度もぜひ行きたい。」と感想を述べており、有意義な体験ができた。また、高校側からは「一生懸命活動している様子が、高校生にとっても良かった。先生方への刺激になってよかった。」といった感想が寄せられ双方にメリットがあった。

3)松商短期大学部

①大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は穂高商業高校(2年生89名)、諏訪実業高校(12名)との連携事業となった。

- 7月25日 香取智宜「会計学入門①」、山添昌彦「経営分析①」、藤波大三郎「金融論入門」、
廣瀬豊「UD入門①」
- 26日 中山文子「心理学入門①」、香取智宜「会計学入門②」、飯塚徹「経営学の基礎①」
金子能呼「マーケティング①」
- 27日 山添昌彦「経営分析②」、金子能呼「マーケティング②」、糸井重夫「キャリアクリエイト」
- 3月19日 飯塚徹「経営学の基礎②」、小澤岳志「ブライダル入門」、香取智宜「会計学入門③」
廣瀬豊「UD入門②」
- 20日 中山文子「心理学入門②」、浜崎央「医療事務入門」、藤波大三郎「銀行論入門」
金子能呼「松商短大の学び」

②高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生徒を対象として、本学教員(香取・山添)が同校に週1回出向いて日商1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。今年度は4月16日から1月21日の間で、毎月曜日10:20~12:10に全22回実施、参加生徒数は3年生19名であった。

4. 入試広報部門

(1) 入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学部の代表および入試広報室の職員から構成されている。平成30年度は大学院代表が委員長を務めた。

入試委員会の業務は、①学生募集に関すること(オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など)、②入学試験に関すること(入試改革、入試問題の作成と確認、入試の運営など)、③①～②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、および④受験生・在学生・保護者・地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、入試委員会の関連組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討部会とAO入試の企画・運営に携わるAO運営部会がある。

(a) 委員会開催

平成30年4月19日(木)

下記の昨年度全学入試委員会からの申し送り事項を継続審議とすることを確認した。

①今年度入試内容について

- 1) 総合経営学部：AO入試を1回のみの実施とし、自己推薦入試を実施する。
- 2) 人間健康学部：スポーツ健康学科のAO入試に「総合選抜型」および「運動選抜型」(どちらも仮称で名称検討中)を導入する。加えて「指定競技特別推薦」をⅠ・Ⅱ期実施し、Ⅱ期は一般B入試と同時期に実施する。
- 3) 教育学部：推薦入試の選考方法は、書類審査、面接および筆記(文章理解)とする。AO入試の選考方法は、一次の面談は実施せず、二次に面談を実施し、集団面接は実施しない。また、一芸(外国語等)に秀でた受験生から出願されるよう募集要項に注意書きを入れることを検討していく。なお、エントリーシートは従来の様式から変更せず、内容を今後検討していく。一般入試A・Bは、国語を必須とし、他教科を1科目および2科目として選考する。スカラシップ入試については、一般入試およびセンター利用入試ともに、昨年同様とする。
- 4) 短期大学部：AO入試Ⅲ・Ⅳ期を一般B・C日程と並行して実施する。

②編入学試験への指定校推薦について

大学部において退学生が毎年数%ずつ発生することから、3年次編入の定員を充たしつつ4年間の学部学科の定員数を維持できるようにすることを目的とし、編入学試験の入試改善を進めていくことについて山田委員長より提案がなされた。健康栄養学科においては、実績のある短大に指定校推薦を実施することで検討が進んでいる。本短大からの学部編入やビジネス系およびスポーツ系の短大や専門学校からの編入学について検討することとした。

③センター試験科目について

現在の高校1年生から大学入学共通テストが開始になることに伴い、2018年12月までに各学科の入試においてどの教科を使用するのか公表(大学ホームページに掲載)する必要があるため、各学科において検討することとした。

④英語外部試験利用について

英語外部試験(英語検定、GTEC等)を入試に導入する方法について、他大学の動向および高校訪問等で情報収集することとした。

⑤強化部等の入試について

昨年度の入試方法を踏襲し、各部のリストに基づいて各学科で枠を定めて運用することとした。

⑥あづみのFM・FMまつもとで放送中の情報番組への協力について

あづみのFMの学部担当順序について確認された。COC事業で実施していたFMまつもとの情報番組を今後入試広報委員会が引継いだ上で実施していくこととなったため、協力依頼がなされた。

担当は順番で回していくことが確認された。

平成30年6月22日(金)

①試験問題および模範解答の公表について

文部科学省の平成31年度大学入学者選抜実施要項に伴い、今年度入試に用いた入試問題および模範解答を次年度公表することについて審議され、承認された。

②世界史科目について

世界史科目の入試問題の校正を担当していた人物が異動したため、株式会社進研アドに外注することが報告された。

③入学金免除規程について

実情に伴って整備が必要であった入学金免除規程は、全学協議会での承認後、最終的に理事会にて諮られることが報告された。

④アドミッションポリシーについて

文部科学省の平成31年度大学入学者選抜実施要項の通知に伴い、次年度入試からアドミッションポリシーを可能な限り具体的に明記する必要があることを確認した。

⑤各活動のホームページリニューアル状況について

考房「ゆめ」、地域健康支援ステーションおよび研究ブランディング事業のホームページの更新に関して、技術的支援を行うことが報告された。

⑥「蒼穹 vol.131」についてページ構成案の確認がなされた。「全国モデルとして注目される教育課程に取り込んだ実践型教育」を特集とした。

平成30年7月20日(金)メール審議

「蒼穹 vol.132」についてページ構成案の確認がなされた。「予防医学的総合科学に特化した先駆的研究を展開する大学院」「教員養成への挑戦」を特集とした。

平成30年9月13日(木)

①センター入試科目について

次年度から国語の取り扱い(現代文、古典)が変更になることを受け、本学のセンター利用入試で使用する科目を各学科で検討することとした。

②入学者の追跡調査による選抜方法の妥当性について

教務課からのデータ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生プレイスメントテスト)を踏まえ、今後の入試にどのように反映させるか各学科において検討していくこととした。

③各規程について

大学および短期大学部の特待生規程の改定案が承認された。また、入学金免除規程は、すでに理事会において承認されているため、本委員会として追認した。

④大学案内について

次年度の大学案内の作成にあたり、季節感を意識して、これまでより早く始動することが承認された。

⑤授業公開日について

これまで実施してきた授業公開日は、諸々の課題が残り、それを今後解消することが難しいことから、今年度および次年度以降の実施について検討した。検討の結果、次年度以降については、授業公開日の参加者が入試にどのように影響しているかどうかを分析したうえで判断することとした。今年度については、計画通り実施することとした。

⑥蒼穹について

蒼穹で取り扱ってきた「アウトキャンパス・スタディ」のコンテンツを拡大し、地域の課題を解決に導くことを目的とした授業等を取り扱えるように変更したい旨、説明がなされ、承認がなされた。なお、新しいコンテンツの名称は今後検討することとした。

⑦沖縄県での広報活動について

沖縄県からの入学生を獲得することを目的に実施してきた広報活動であるが、過去の実績から、現状では目的どおりに入学生獲得につなげるのが困難な状況である。これに伴い、今年度より

入学金免除に離島が対象となったこと、および過去の受験生・入学生・高校訪問の様子等を鑑みて、広報対象を沖縄県から佐渡に変更することとした。なお、一般A入試での沖縄県会場は、今年度は計画どおり実施することとするが、次年度は今年度の状況を見て判断することとした。

⑧オープンキャンパスについて

リピーターの減少により参加者が減少傾向にあることが報告された。

⑨松商学園高校との懇談会について

松商学園高校の進路指導教員との懇談を重ね信頼関係を築いてきたが、今後さらに信頼関係を強くするために担任教員にまで拡張して情報交換(お互いの指導方針の確認等)を行っていくことが確認された。

平成30年10月23日(火) メール審議

①「蒼穹 vol.133」について

「蒼穹 vol.133」についてページ構成案の確認がなされた。「学生目から見た教育学部での学びの魅力」「松商短期大学の時代の変化に対応した教育の推進」を特集とした。

平成30年11月28日(水)

①2020年度入試区分

次年度(2020年度)の入試区分について、これまでの入試状況および2021年度より開始する新入試制度を踏まえて議論した。まず、指定競技特別推薦入試は、AO入試の区分にて実施することとした。これを受け、次年度のAO入試の種類は、「一般選抜(名称仮)」「運動選抜」「指定競技選抜」「社会人選抜」「特別活動選抜(名称仮)」の5種類とし、各学科においてどの種類を選択するか検討することとした。加えて、各入試区分の名称は、次年度から新入試制度に準ずることとし、混乱を避けるためにカッコ書きで従来の入試区分名称を明記することとした。

②2020年度入試日程

次年度の入試に関する年間スケジュールについて、2通りの案(2021年度からの新入試制度を見越した案、従来に基づいた案)の資料を基に議論した。議論の結果、次年度は、新入試制度を見越した年間スケジュールにて入試を実施し、その結果を分析しながら新入試制度に対応していくこととした。しかしながら、短期大学部においては、専門学校の入試日程の関係もあり、従来どおりのスケジュールで実施することとした。今後、各教授会で以上の説明を行い、全学協議会議に上程することとした。

③センター入試科目について

次年度のセンター入試における国語科目については、大学、短大ともに従来通り取り扱うこととした。

④Web動画制作について

近年の受験生の動向として、Webにて各進学先の情報を収集する状況(それによるオープンキャンパス来場者数の減少)があり、本学のHPにも年間約27万件のアクセス数がある(この内、約8割がスマートフォンからのアクセス)。これを受け、広報活動の一環として模擬授業のWeb動画を制作してHP上に掲載することで、受験生の変化に対応したいため、各教授会において意見を伺うこととした。

平成31年1月24日(木)

①2020年度入試区分

次年度の入試区分について、各教授会、全学運営会議および全学協議会での議論の結果、原案どおり進めることで承認された。しかしながら、「総合選抜型(特別活動)」「教育学部で入試区分採用予定)については、高等学校における「特別活動」と区別できるような名称を教育学部において検討し、次回本委員会で確認することとした。

②入試日程

従来どおりのスケジュールおよび新スケジュールの両案を、再度全学運営会議および全学協議会に上程し、最終決定の判断を仰ぐこととした。

③Web動画制作について

Web動画制作については、各教授会で承認されたことを確認した。しかしながら、高額な予算を要しないこと、および高校生が視聴することを前提とした内容にすることに留意して進めることとした。

④英語外部試験について

英語外部試験の導入については、本学の入試における導入方法を2020年3月までに公表しなければならないため、業者からの意見聴取を行い、次回本委員会に原案を提出して検討することとした。なお、3月7日(木)13時よりの短大APフォーラムにおいて、ベネッセより講師を招いて英語外部試験についての講演が実施される件について周知がなされた。

⑤2021年度選抜公表について

2021年度における本学の入学者選抜に関する方針を、2019年3月までに公表しなければならないため、原案を次回本委員会に提出して検討することとした。

⑥オープンキャンパス コンペ結果について

2019年度のオープンキャンパスに用いる媒体(ポスター、チラシ、CM等)は、コンペティションの結果、アド・コマーシャル㈱に依頼することとした。

⑦蒼穹3月号について

蒼穹3月号作成について、スケジュールと内容について確認がなされた。また、各コンテンツの当番学科に人選等、協力依頼がなされた。

⑧その他

- ・3月21日(木・祝)に実施する春のオープンキャンパスについては、例年どおり新旧の委員を中心に実施することとした。
- ・総合経営学部的一般Aおよびセンター利用I期入試の不合格者においては、不合格通知と共に短期大学の今後の入試日程等の案内を送付することとした。

平成31年2月25日(月)

①詳細アドミッションポリシーについて

詳細アドミッションポリシーの各学部学科の原案が各教授会にて審議され、いずれの学部も大筋で承認されていることを確認した。今後は、全学部統一した表示方法を入試広報室で作成し、これを用いた最終案を各学部学科で作成し、3月教授会に上程して決定できるよう進めることとした。

③一般A入学試験の地方会場について

次年度の一般A入学試験の地方会場について審議し、これまでの実績から沖縄会場は実施しないこととした。

④「総合型選抜(特別活動)」の名称について

「総合型選抜(特別活動)」の名称について教育学部教授会で審議されている状況を確認した。本委員会としては、他の学部との関係を鑑み、「総合型選抜(特別技能)」とする案が適当であるとし、本意見をふまえて再度教育学部教授会で審議いただくこととした。

⑤2020年度の定員割振り

次年度の各入試区分に対する定員については、各学部学科の動向および「総合型選抜(指定競技)」の各強化部の人数等をふまえて検討し、3月教授会に上程して決定できるよう進めることとした。

⑥2021年度選抜(新入試制度)公表について

公表内容について原案を確認し、この内容で公表することとした。修正が必要な場合は、早々に入試広報室長に申し出ることとした。

⑦英語外部試験について

英語外部試験の導入方法について、業者からの他大学の傾向や具体的な事例の資料を確認した。今後、本資料をもとに各学部学科で検討を進めることとした。

⑧次年度入試問題検討委員について

入試問題検討委員の選出方法は、学長に相談して候補者を決定することとした。

⑨その他

・受講公開日について

次年度の授業公開日の実施については、志願者の状況をみて判断することとしていたが、次年度の授業日程からすると、実施が困難であることが確認された。しかしながら、授業公開日と志願者の状況は確認することとした。

- ⑩「蒼穹 vol.134」についてページ構成案の確認がなされた。「松本市との包括的連携協定締結地域の発展と人材育成に向け絆新たに」を特集とした。

平成31年3月27日(水)

①詳細アドミッションポリシーについて

前回の委員会で提示された各学科の詳細アドミッションポリシーを、書式を統一して確認した。人間健康学部および教育学部は、前文について検討し、次回本委員会(4月の早めに開催予定)へ提示することとした。

②一般A入学試験の地方会場について

次年度の一般A入試の地方会場は、東京、名古屋、新潟、甲府に加え、志願者の動向から高崎会場を設けることとした。具体的な会場等は入試広報室で設定する。

③「総合型選抜(特別活動)」の名称について

「総合型選抜(特別活動)」の名称について、教育学部で検討した結果、「総合型選抜(特別技能)」とすることが報告され、本委員会としても承認した。

④2020年度の定員割振り

各入試区分に対する定員について、各学科での検討状況を確認した。最終案を次回本委員会で確認することとし、4月中に確定する。また、定員数に加えて各入試に関するすべての変更点を対照できる形にして、次回委員会で確認することとした。

⑤英語外部試験について

本学に適した導入方法を検討していく必要があるため次年度以降の継続審議とした。なお、入試広報委員が変更になる場合は引き継ぎをしていただくよう依頼した。

⑥次年度入試問題検討委員について

次年度の入試問題検討委員案が学長より提出されたため、本委員会でこれを確認し、承認した。

⑦次年度に向けての課題

本年度の入試を終えたため、振り返りを行い、課題を抽出した。

⑧蒼穹について

今回の蒼穹について、内容および作成スケジュール等の準備が出来次第、メールにて配信することとした。

⑨指定校基準

上述の審議事項⑦を踏まえ、各学部学科において情報を分析し、戦略的な判断をして原案を作成することとした。今後、5月教授会にて決定できるよう進めていく。なお、公募推薦の基準を変更する場合は、4月教授会にて決定するよう確認した。

⑩2年次編・転入学選抜、3年次編・転入学選抜について

入学定員充足率は学部単位、収容定員充足率は学科単位での確認となるため、2年次、3年次の編・転入学選抜を強化(総合経営学部ではすでに実施している)し、補充して充足できるように検討していくことが委員長より提案され、各学部学科において検討していくこととした。

⑪その他

高等教育の無償化が開始となった場合、短期大学部で実施している経済特待生の学費に影響があることが推測されるため、今後対応策を検討することとした。

(b) 事業・活動

1) オープンキャンパスの実施

高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学ならびに各学部学科の魅力をアピール

するとともに、様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程ならびに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

2) 授業公開の実施

前後期にそれぞれ1回ずつ、高校生と保護者が通常講義を見学できる授業公開日を設定した。なお、日時や動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

3) 学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校内で実施される模擬授業ならびに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、Ⅲ-1-⑤高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

4) 学外でのガイダンスの実施

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、入試広報室の項を参照されたい。

1) 入試問題検討部会

(a) 部会開催

平成30年10月6日(土)

- (1) 学長より挨拶。現在の入試動向、および作題にあたっての注意がなされた。
- (2) 全学入試委員長より挨拶。
- (3) 各教科、初稿原稿をもとに学内担当者、および作題担当者による試験内容の確認および修正が話し合われた。

(b) 事業・活動

1) 作題案の確認と修正

大学教員との打ち合わせを受けて、作題者が作問した。その後、各担当教員との間で、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正し、各担当教員の了承を得た上で、最終作題案が決定された。

2) 最終作題案のチェック

最終作題案に対し、担当教員や複数の事務職員による確認作業を行った。いくつかの修正を経た上で試験問題の作成が完了した。

(2) AO入試運営委員会

1) 委員会開催

平成30年7月20日(金)第4会議室

- ① スポーツ健康学科のアドミッションポリシーの追加を確認した。
- ② 学生募集要項に基づき、各学部学科のアドミッションポリシーを確認した。
- ③ 学生募集要項に基づき、各学部学科のAO入試内容について確認した。

2) 事業・活動

- ① 各学部学科でアドミッションポリシーに沿ったAO入試を行った。
- ② 次年度に向けて、各学部学科のAO入試の内容をより良いものにするために検討することとした。

(3) センター入試委員会

センター入試委員会は、本学キャンパスを平成30年度大学入試センター試験の試験会場として運営するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整及び大学入試センター試験の変更に伴うプレテストの実施を主な業務として活動した。当年度は教員8名、職員5名の委員構成となった。

今年度は試験室数が増え11教室となった。割当数は634名であった。「地歴・公民と理科②」の受験パター

ン別の受入れに関するグループ化」の受け入れにより、4教室が二日目に受験者がいなくなるとともに、理科②の時間帯における空き教室もでき、教職員への負担減につながった。当日は追試験申込者や別室試験者は発生することなく無事に業務を遂行することができた。

1) 会議および実施内容

- ①第1回平成30年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議
平成30年6月25日(月)遠隔会議システムにて
平成31年度センター試験について
- ②平成30年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議(中信地域担当者会議)
平成30年7月4日(水)松本歯科大学会議室にて
参加大学：信州大学(4名)、松本歯科大学(2名)、松本大学(4名)
各大学の状況及び意見交換後、後日下記の依頼が信大より通知された。
 - ・中信地域では、信州大学松本試験場と松本大学試験場の間で「地歴・公民と理科②の受験パターン別の受入れに関するグループ化」を行う。
 - ・確定志願者数が決定段階で推計志願者数から増減する場合は、信州大学松本試験場の受入数を変更願いたい。
 - ・信州大学松本試験場と松本大学試験場に割振る「地歴・公民」と「理科②」の受験パターン数は、次のとおりとしていただきたい。
信州大学松本試験場…多人数受験パターン(1-2、2-0、1-0、0-0)
松本大学試験場…少人数パターン(2-2、2-1、1-1、0-2、0-1、1-0)
 - ・確定志願者数が推計志願者数を下回った場合は、小規模の試験室を減らし、試験室数を極力減らすようにしていただきたい。
 - ・中信地域の「障害等のある志願者」の割振りは、当初は信州大学松本試験場に全て割り振り、信州大学で各試験場の状況を勘案し、各試験場が均等に負担するように割り振りを行う。
- ③第1回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
平成30年8月20日(月)メルパルク東京
大学入試センターより平成31年度試験実施内容およびプレテストの解説
- ④第1回センター入試委員会
平成30年9月20日(木)
プレテストについての実施内容および今後のスケジュールについての確認
- ⑤プレテスト会議
平成30年10月31日(水)
プレテストについての担当及び注意事項の確認
- ⑥第2回センター入試委員会
平成30年11月26日(月)
学外参加会議の報告と当年度試験の変更点の確認
本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認
監督者等の配置基準の確認
監督者会議およびリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担
監督者会議およびリスニング予行演習の進行と説明内容の確認
- ⑦第1回監督者会議
平成30年12月5日(水)
監督者に向けた業務内容の概説
- ⑧第2回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
平成30年12月3日(月)メルパルク東京
大学入試センターより試験当日の留意点、問題訂正等の解説

文部科学省より新大学入試制度に関する進捗状況報告

⑨第1回リスニング試験予行演習

平成30年12月13日(木)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説

⑩第2回リスニング試験予行演習

平成29年12月20日(木)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説

⑪試験問題の受取・仕分作業

平成31年1月10日(木)

問題冊子と解答用紙の仕分けと保管

⑫センター入試スタッフ会議

平成31年1月11日(金)

センター入試に向けて、職員間における作業内容の確認

⑬第2回監督者会議

平成31年1月18日(金)

監督者に向けた業務内容の詳説

⑭試験会場設営準備作業

平成31年1月18日(金)

各試験室の設営と検査

⑮センター入試業務の実施

平成31年1月19日(土)・20日(日)

試験業務の実施

解答用紙のチェックと保管

⑯答案用紙等の引渡

平成31年1月21日(月)

運送業者への答案用紙等の引き渡し作業

5. 管理部門

A：大学管理運営

(1) 全学協議会（構成員 教員12名、事務局2名 計14名）

学長、副学長、研究科長、各学部長・学科長並びに事務局長および総務課長、学生センター長を構成委員とする全学協議会は、最高意志決定権者である学長の下に置かれ、学部横断的課題・事項に関する審議・決定と、報告事項の適切かつ適確な周知による各種情報の全学的共有化を主要な任務としている。

今(平成30)年度もまた、上記の主旨を踏まえ、事前に開催された学長、副学長、研究科長、各学部長並びに事務局長および総務課長を構成員とする全学運営会議において確認、整理された審議・報告事項等について慎重に審議し決定することを中心に、報告事項についても全学的に周知を図るべく努めた。

以下、「(a)委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、さらに「(b)事業・活動」として、(1)全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定、(2)学則および各種規程の審議・承認、(3)入試に関連する諸事項の検討・決定、(4)各種申請の調整・支援と遂行、(5)各種連携協定の審議・承認と締結、(6)その他、の6点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

1) 委員会開催

第1回 平成30年4月25日(水)17:10~19:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)今年度委員会構成の再確認について(住吉学長)審議、承認
 - 1)教職センターの組織と運営
 - 2)FD・SD推進部会の設置
- (2)大学院設置計画と今後の予定について(住吉学長)審議、承認
- (3)今年度の地域連携戦略会議の財政的裏付けと事務局体制について(住吉学長)(継続審議)
- (4)離島出身合格者に対する入学金免除制度について(山田全学入試委員長)審議、承認
- (5)個別高校対応のリーフレット作成と学生募集について(住吉学長)審議、承認

〔報告事項〕

- (1)課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業(学振)について(住吉学長)
- (2)編入学試験の指定校推薦について(山田全学入試委員長)
- (3)English Caféの今年度の取組について(等々力全学教務委員長)
- (4)同窓会からの支援金について(糸井前国際交流センター長)

第2回 平成30年5月30日(水)17:00~18:25 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)松本大学文献複写規程の改訂について(糸井担当)審議、承認
- (2)元号変更に係る対応について(柴田事務局長)審議、承認
- (3)地域関連事業展開に関わる財政的課題について(等々力副学長)(継続審議)

〔報告事項〕

- (1)次期理事および評議委員の選任について(住吉学長)
- (2)長野県との連携に係る懇談(5/25)について(柴田事務局長)
- (3)大学等におけるインターンシップの届出制度について(柴田事務局長)
- (4)授業アンケート実施方法の変更について(住吉FD・SD委員長)
- (5)研究ブランディング事業キックオフ・シンポジウム(5/24)について(等々力委員長)
- (6)JTRC本部移転および学習室の設置について(住吉学長)

第3回 平成30年6月27日(水)18:00~19:40 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)「松本大学教育実践改善賞(仮)」の制定、実施について(等々力副学長)審議、承認
- (2)各種規程の整備(制定・改定・廃止 他)について(等々力副学長)審議、承認
- (3)入学金免除規程について(山田全学入試委員長)審議、承認
- (4)私立大学等改革総合支援事業に係る説明会報告とタイプ1対応について(等々力副学長)審議、承認
 - 1)アセスメント・ポリシーの作成
 - 2)SDの実施
 - 3)教育サポート・スタッフの研修
- (5)「大学間連携による共同研究」の募集について(木藤研究推進委員長)審議、承認

〔報告事項〕

- (1)理事会・評議員会(6/1)報告(住吉学長)
 - 1)理事長および理事会メンバー
 - 2)第2回合同教授会開催(7/4 16:50～、524教室)
- (2)事務局人事について(松尾総務課長)
- (3)今年度入試をめぐる諸状況について(山田全学入試委員長)
 - 1)山梨学院大学の動向 他
- (4)松本商工会議所との連携事業の進捗状況について(等々力副学長)
- (5)内閣府の本学訪問(6/22 13:00～)について(住吉学長)
- (6)文部科学副大臣の本学訪問(7/9 15:00頃～)について(住吉学長)
- (7)退学率について(等々力全学教務委員長)

第4回 平成30年7月25日(水)17:45～19:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1)松本大学・松本大学松商短期大学部アセスメント・ポリシーについて(等々力副学長)審議、承認
- (2)「松本大学松商短期大学部履修規程」の改定(キャップ制度の導入)について(糸井短期大学部長)審議、承認
- (3)松本商工会議所との連携・協力に関する協定書について(柴田事務局長)審議、承認
- (4)エア・ウォーター(株)との業務委託に関する連携協定について(等々力研究事業推進委員長)審議、承認

〔報告事項〕

- (1)理事会(7/24)について(住吉学長)
- (2)各種事業・行事について
 - 1)防災士フォローアップ研修会(6/30)の成果(住吉学長)
 - 2)村瀬組との連携協定締結・調印式(7/3)(等々力研究事業推進委員長)
 - 3)県教育委員会との懇談(7/24)(住吉学長)
- (3)今後の各種事業・行事予定について
 - 1)SD研修会の開催(7/26)(柴田事務局長)
 - 2)「松本大学教育実践改善賞」創設に関する記者会見(8/6)(柴田事務局長)
 - 3)教育サポート・スタッフ研修会の開催(8/27)(等々力全学教務委員長)
 - 4)外部評価委員会の開催(8/30)(柴田事務局長)
- (4)第2次中期目標・計画の冊子化について(柴田事務局長)

第5回 平成30年9月26日(水)17:00～19:20 欠席2名

〔審議事項〕

- (1)ノート型パソコン等学生貸し出し内規の整備について(等々力副学長)審議、承認
- (2)全学委員会構成員の一部変更について(住吉学長)審議、承認
 - 1)衛生委員会委員

- 2) 総経・人間教職センター会議委員
- (3) 本学における学会等の開催(施設貸出)について(住吉学長)審議、承認
 - 1) 日本スポーツとジェンダー学会(新井先生、2019.6.29(土)～6.30(日))
 - 2) 日本生物教育会(柴田事務局長、2020.8.7(金)～8.9(日))
 - 3) 信州公衆衛生学会「2020年度学術総会」(廣田先生、2020.8.29(土))

〔報告事項〕

- (1) 平成30年度私立大学等改革総合支援事業(タイプⅠ・Ⅳ)の申請について(柴田事務局長)
- (2) 今年度の入試状況並びにオープン・キャンパスについて(柴田事務局長)
 - 1) オープン・キャンパスの実施状況
 - 2) 全統マーク模試
- (3) 指定競技特別推薦入試受験予定者の特待生の扱いについて(等々力学部長)
- (4) 松本大学外部評価委員による評価の結果について(住吉学長)
- (5) 各種事業・行事予定について(柴田事務局長、等々力担当)
 - 1) 入試問題検討委員会(10/6)
 - 2) 中京学院大学・瑞浪市の訪問・調査(10/15、地域連携について)
 - 3) 札幌国際大学(11/5、基礎教育センターについて)
 - 4) 私学事業団補助金課(10/17、短期大学部タイプⅠ進捗状況ヒアリング)
- (6) インターンシップ科目準備状況について(等々力全学教務委員長)
- (7) FD・SD研修会開催について(10月31日(水)、講師：上野隆幸教授)(柴田事務局長)
- (8) 学校法人松商学園120周年記念行事について(柴田事務局長)
- (9) 学生への面談依頼について(柴田事務局長)
 - 1) 長野県楽園信州・移住推進室(9月21日以降予定)
 - 2) 日経グローバル紙取材(10月上旬予定)
- (10) 各種協定の締結・調印について(住吉学長、柴田事務局長、等々力全学教務委員長)
 - 1) 松本商工会議所(9/10)
 - 2) 上越教育大学(9/13)
 - 3) エア・ウォーター(株)(9/18)
- (11) 各種事業・行事報告(山添商学科長、柴田事務局長)
 - 1) 後援会役員会(7/28)、2) 松本大学同窓会との懇談会(8/7)、
 - 3) サポート・スタッフ研修会(8/27)、4) 田園調布学園大学の訪問・調査(8/31)
 - 5) 短期大学部のAP外部評価・助言委員会(9/4)
 - 6) SD研修会(9/4、9/11)、7) 夏季休暇中のクラブ等の活動

第6回 平成30年10月24日(水)17:20～18:50 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 総経・人間教職センターの組織および人事について(住吉学長・等々力担当)審議、承認
- (2) 次年度の管理体制について(住吉学長)審議、承認
- (3) 台湾義守大学との教員交流に関する「覚書」締結並びに同大学新学長の本学招聘について(糸井担当)審議、承認
- (4) デラサール大学(フィリピン)との教員交流に関する「覚書」締結交渉について(糸井担当)審議、承認
- (5) 中国嶺南師範学院との「3+1」プログラムの実施について(糸井学部長)審議、条件付きで承認
- (6) 2020年オリンピック開催に伴う学年歴について(等々力全学教務委員長)審議、承認
- (7) 本学における学会等の開催(施設貸出)について(住吉学長)審議、承認
 - 1) 第65回日本宇宙航空環境医学会大会(河野先生、2019.11.29(金)～12.1(日))
- (8) 今後のFD・SD研修会の開催予定について(住吉FD・SD委員長)審議、了承
 - 1) 「進路指導の実態を聞く(仮称)」、2) シラバス作成方法

(9)松本大学出版会平成31年度の出版予定について(木藤研究推進委員長)審議、承認

[報告事項]

- (1)教職支援センター(教育学部)専門員の補充について(川島学部長)
- (2)松商学園創立120周年記念式典等について(柴田事務局長)
- (3)上越教育大学との連携協定に関する協議事項および施設利用について(柴田事務局長)
- (4)海外研修の現地実習地について(糸井担当)
 - 1)アベリストウィス大学(イギリス)
 - 2)オーストラリアン・カトリック大学(オーストラリア)
- (5)私学事業団の調査(10/17)について(糸井学部長)
- (6)研究・共同研究並びに学外組織・学外団体の受入について(住吉学長・柴田事務局長)
- (7)松本コンベンションセンターからの申し入れについて(等々力副学長)
- (8)FD・SD研修会の開催(10/31「認証評価の現状について」上野教授)(住吉FD・SD委員長)
- (9)世界健康首都会議(11/8~9)の一部本学開催(11/7)について(住吉学長)
- (10)平成31年度以降の入学試験における入学者数について(住吉学長)

第7回 平成30年11月28日(水)17:00~19:20 欠席1名

[審議事項]

- (1)人事(採用、転出、昇進、再任用)の進捗状況について(関係各学部長、柴田事務局長)審議、承認
- (2)2022年度認証評価受審に向けた対応策について(住吉学長・柴田事務局長・等々力全学教務委員長)審議、承認
 - 1)内部質保証室の設置、2)議事録の書式統一(継続審議)、3)企業向けアンケート等の実施
 - 4)成績「S」評価の基準設定(各学部へ審議依頼)、5)学友会役員との定期懇談会の実施
- (3)学則変更について(等々力全学教務委員長・柴田局長)審議、承認
 - 1)成績「S」評価改定に伴う学則変更
 - 2)カリキュラム改定に伴う学則変更
 - 3)学長の包括的な最終責任者としての職務と権限の明文化に伴う学則変更
- (4)地域連携推進委員会および地域連携課の設置とそれに関わる予算措置について(住吉学長、柴田事務局長)審議、承認
 - 1)学校法人松商学園事務分掌規程における大学組織
 - 2)来年度予算策定(地域活動、公開講座等の募集)
- (5)次年度以降の「公務員試験対策講座」について(住吉学長、等々力担当)審議、承認
 - 1)公務員試験対策講座運営連絡会議の設置
 - 2)今年度の公務員試験合格状況と来年度の実施計画・予算
- (6)連携・協力協定の締結について(糸井学部長、柴田事務局長、等々力研究ブランディング事業推進委員長)
 - 1)ACU、TRU 両大学と短期大学部との連携協定
 - 2)松本市との包括的な連携・協力の協定
 - 3)美津濃(株)との商品売買に関する協定締結

[報告事項]

- (1)この間の入試状況について(山田全学入試委員長)
- (2)各委員会並びに個人研究費等の2018年度補正予算および2019年度予算策定について(柴田事務局長)
- (3)科研費の申請状況および学内各種助成金の申請状況(住吉学長)
- (4)FD・SD研修会開催について(住吉FD・SD委員長)
 - 1)学生募集に関する高校の進路指導状況について(12/4 16:50~514教室)
 - 2)アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価の実施 他について(12/5 17:00~514教室)
- (5)祥明学、梅香高校(韓国・ソウル)訪問結果について(住吉学長)

- (6) 長野県私学振興大会(11/19)と私立大学協会中部支部総会(11/26)について(住吉学長)
- (7) 札幌国際大学の基礎教育センター訪問・調査(11/5)について(等々力担当)
- (8) 男子バレーボールVC.長野トライデンツとの連携協定締結(12/4 10:00~)について(等々力副学長)
- (9) 障がい者雇用、養護学校からのインターンシップ受け入れ等の状況について(柴田事務局長)
- (10) 松本大学生協の収支状況について(柴田事務局長)
- (11) 日本語スピーチコンテストについて(住吉学長)
- (12) 『研究紀要17号』への投稿について(木藤研究推進委員長)

第8回 平成30年12月25日(火)17:00~19:00 欠席なし

[審議事項]

- (1) 学則の変更並びに各種規程の制定と改正について(等々力全学教務委員長、山田全学入試委員長、糸井担当、柴田事務局長)審議、承認
 - 1) 松本大学学則の変更
 - 2) 松本大学松商短期大学部学則の変更
 - ・ 成績評価の適正な管理が求められていることから、全学的な成績評価基準を定め100点法による素点と評価記号との関連を明示。
 - ・ 学修成果を総合的に判断する指標としてGPAを用いることを明示。
 - ・ インターンシップ等を想定し、成績評価をせずに単位認定を行う場合にP(合格)、F(不合格)を用いることができることを追加。
 - ・ 本学以外で修得した単位をNとして、所定の単位を与えることができることを実態に即して明示。
 - ・ 学校教育法第92条第3項に照らし、学長の権限を明示。
 - ・ 各学部におけるカリキュラム変更。
 - 3) 松本大学履修規程の改正
 - 4) 松本大学松商短期大学部履修規程の改正
 - ・ GPAを用いて、成績優秀者に履修登録上限単位数を緩和する特例措置を設ける旨の文言を追加。
 - ・ 成績評価の適正な管理を実質化するため、全学的に評価の基準を設定。
 - ・ P(合格)、F(不合格)を用いたものはGPAの対象外とすることを追加。
 - ・ GPAは小数点第3位以下を四捨五入して小数点第2位まで表示されるため、基準の数値を小数点第2位まで示すよう統一。
 - 5) 松本大学教職課程履修規程の制定
 - ・ これまで学生に配付する教職課程履修の手引きに記載していた教職課程の履修に関するルールを規程化。
 - 6) 松本大学特待生規程の改正
 - 7) 松本大学松商短期大学部特待生規程の改正
 - 8) 松本大学個人情報保護規程の改正
 - 9) 松本大学私費外国人留学生授業料減免規程の改正
 - ・ 第2条において規定している「対象者」が、支援そのものの対象外となる者と支援を取消す者が混在していたため、前者を第2条、後者を第8条に区分。
 - ・ 本制度を設けた当初は、年度単位で継続審査を行っていたが、実際には学期(前期と後期)単位で継続審査を行っていることから、実態に合わせて条文を変更。
 - ・ 継続基準と継続審査の手続きを、実態に合わせて明文化。
- (2) AO入試の分類と定員について(住吉学長、山田全学入試委員長)(継続審議)
- (3) 2022年度第三者評価受審に向けて(増尾担当、等々力副学長)審議、承認
 - 1) 企業向けアンケート
 - 2) 議事録の書式統一
- (4) インターンシップ科目設置に伴う実施体制について(等々力全学教務委員長)審議、承認
- (5) 来年度以降の学会等の開催について(住吉学長)審議、承認

1) 日本特別ニーズ学会(2019年6月2日(日)、約80名、5教室)

[報告事項]

- (1) 2019年度入試前半の状況について(山田全学入試委員長)
- (2) 大学院に関する文部科学省事前相談日程について(住吉学長)
- (3) SD研修会の開催について(住吉学長)
 - 1) 知財等に関するSD研修
 - 2) 学修行動調査アンケート結果についてのSD研修
- (4) 中教審「グランドデザイン」答申について(柴田事務局長)
- (5) 松本市と台湾・高雄市との交流(3月上旬)について(住吉学長)
- (6) 本学の障がい者雇用の取組について(柴田事務局長)
- (7) 実務経験教員の確認について(等々力全学教務委員長)
- (8) 「松本大学教育実践改善賞」の応募状況について(住吉学長)
- (9) ソフトボール部の新監督就任について(住吉学長)
- (10) 事務局の人事について(柴田事務局長)

第9回 平成31年2月8日(金) 15:00~17:45 欠席2名

[審議事項]

- (1) 2019年度入試日程について(山田全学入試委員長) 審議、承認
- (2) インターンシップ科目開設に向けた委員会設置について(住吉学長) 審議、承認
- (3) 公務員試験対策講座の次年度からの委員会の設置について(等々力担当) 審議、承認
- (4) FDに係る授業評価アンケートの新入力システムの導入について 審議、承認
- (5) 協定の締結等について(住吉学長、等々力担当) 審議、承認
 - 1) オーストラリア国立ニューカッスル大学との連携協定
 - 2) 丸の内ビジネス専門学校との交流
 - 3) 松商短期大学部と義守大学の覚書(報告)
 - 4) 松本市との包括協定(報告)
 - 5) 松本市教育委員会との覚書(報告)
 - 6) 日韓大学相互交流
 - 7) 松本日中友好協会加盟
- (6) 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)への加盟について(等々力副学長) 審議、承認
- (7) U-23全日本MTB選手権大会優勝学生(山田夕貴、スポーツ健康学科1年)の特待生資格について(等々力学部長) 審議、承認
- (8) 女子ソフトボール部の新指導者について(増尾担当) 審議、承認

[報告事項]

- (1) 2019年度人事について(確認)(柴田事務局長)
- (2) 2019年度の各種委員について(住吉学長)
- (3) 一般A入試・センター入試結果について(山田全学入試委員長)
- (4) 2019年度年間行事予定表(案)について(柴田事務局長)
- (5) 2018年度「松本大学教育実践改善賞」の審査結果について(住吉学長)
- (6) 「県立高等学校における高大連携ニーズについて」(アンケート調査結果)への対応について(住吉学長)
- (7) 各種会合の開催について(住吉学長、柴田事務局長)
 - 1) 同窓会新年会(1/25)
 - 2) 梓友会(1/13)
 - 3) 新村町会新年会(1/13)
- (8) 2018年度English Caféの実施状況について(等々力全学教務委員長)
- (9) 学生の海外活動状況について(等々力学部長)

- 1) スノーボード・ハーフパイプW杯3位入賞(今井くるみ、スポーツ健康学科1年)
- 2) アルペンスキー世界ジュニア選手権(2月末、イタリア)のGSとSL代表(前田知沙樹、スポーツ健康学科2年)
- 3) 平成30年度「学生ボランティア団体助成事業」(一財)学生サポートセンターに採択
- (10) 松本大学および松本大学松商短期大学部履修規程について(等々力全学教務委員長)

第10回 平成31年2月27日(水)17:30~19:30 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 消費税率引き上げへの対応等について(柴田事務局)審議、承認
 - 1) 学納金等
 - 2) 後援会費
 - 3) 各種証明書発行手数料
- (2) 2019年度の事業計画について(住吉学長、柴田事務局長)審議、承認
- (3) 2019年度の委員会構成とそれに伴う人事について(住吉学長)関係学部での了承を前提に承認
- (4) 9号館の使用と研究室の配置について(柴田事務局長)審議、承認
- (5) 全学教職センターの組織体制について(住吉学長)審議、承認
- (6) 松本市「生涯現役促進地域連携事業」協議会への参加について(住吉学長)審議、承認
- (7) オーストラリアン・カソリック大学(ACUメルボルン校)とのMOU締結について(糸井短期大学部長)審議、承認
- (8) 安曇野市との連携協定締結(3/26)について(等々力研究事業推進委員長)審議、承認
- (9) 企業からの寄付募集と基金の創設について(住吉学長)審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 今年度入試の手続き状況と来年度の募集定員の確認について(山田全学入試委員長)
- (2) 私立大学等改革総合支援事業の採択状況について(柴田事務局長)
- (3) テレビ松本および美勢商事からの大学への寄付の申し入れについて(柴田事務局長)
- (4) 同窓会並びに(株)村瀬組からの「松本大学海外研修支援金」贈呈式(2/21)について(等々力副学長)
- (5) 「松本大学教育実践改善賞」授賞式(2/23)について(住吉学長)
- (6) 平成30年度第2回後援会役員会(2/23)について(住吉学長)
- (7) トンプソン・リバーズ大学(TRU)とのプロトコルについて(糸井短期大学部長)
- (8) 今年度のTOEIC等の現状について(等々力担当)

第11回 平成31年3月27日(水)13:00~15:05 欠席2名

〔審議事項〕

- (1) 「2019年度 委員会構成」について(住吉学長)審議、承認
- (2) 大学院の設置計画について(住吉学長)審議、承認
- (3) 研究ブランディング事業の2018年度総括と2019年度計画について(等々力研究事業推進委員長)審議、承認
- (4) ABERYSTWYTH UNIVERSITYとのMOU締結について(糸井短期大学部長)国際交流センターでの審議・承認を前提に承認
- (5) 2018年度松本大学出版会からの単行本発行について(木藤出版部会長)審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 上野教授並びに眞次准教授の他学部移籍について(住吉学長)
- (2) 2019年度事業計画確定版について(住吉学長)
- (3) 大学院計画の進捗状況について(住吉学長)
- (4) 2019年度入試結果と次年度以降の課題について(山田全学入試委員長)
- (5) 平成30年度私立大学等経常補助金の内示について(柴田事務局長)
- (6) 松本市教育長との懇談について(柴田事務局長)
- (7) 2019年度私立大学等改革総合支援事業について(住吉学長)

- (8)研究ブランディング事業打ち切り説明会(3/8)について(等々力研究ブランディング事業推進委員長)
 (9)台湾・義守大学との交流(3/4~3/8)、陳学長と李准教授の来学日程(6/4・5・6)について(柴田事務局長)

2) 事業・活動

- (1)全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定
- ・FD・SD推進部会の設置
 - ・全学委員会委員の選出・確定とその後の変更への対応
 - ・地域連携推進委員会および地域連携課の設置
 - ・インターンシップ推進委員会の設置
 - ・公務員試験対策講座運営委員会の設置
 - ・上野教授並びに眞次准教授の総合経営学部から人間健康学部への移籍
 - ・総経・人間教職センター専門員の補充人事
 - ・教育学部教職センター専門員の補充人事
 - ・女子ソフトボール部指導者の採用人事
- (2)学則および各種規程の改正・改定・変更の審議・承認と理事会への上程
- ・「松本大学学則」の変更
 - ・「松本大学松商短期大学部学則」の変更
 - ・「松本大学履修規程」の改正
 - ・「松本大学松商短期大学部履修規程」の改正
 - ・「松本大学教職課程履修規程」の制定
 - ・「松本大学文献複写規程」の改正
 - ・「ノート型パソコン等学生貸し出し内規」の制定
 - ・「松本大学特待生規程」の改正
 - ・「松本大学松商短期大学部特待生規程」の改正
 - ・「松本大学個人情報保護規程」の改正
 - ・「松本大学私費外国人留学生授業料減免規程」の改正
- (3)入試に関連する諸事項の検討・決定
- ・離島出身合格者に対する入学金免除制度の制定
 - ・「入学金免除規程」の一部改正
 - ・2019年度入試日程の確定
- (4)各種申請の調整・支援と遂行
- ・私立大学等改革総合支援事業のタイプ1対応(アセスメント・ポリシーの作成／SDの実施／教育サポート・スタッフの研修)
 - ・松本大学・松本大学松商短期大学部アセスメント・ポリシーの制定
 - ・2022年度認証評価受審に向けた対応策(内部質保証室の設置／議事録の書式統一／成績「S」評価の基準設定／企業向けアンケート等の実施／学友会役員との定期懇談会の実施)
- (5)各種連携協定の審議・承認と締結
- ・各種協定の締結・調印(松本商工会議所／上越教育大学／エア・ウォーター(株)／(株)村瀬組／美津濃(株)／男子バレーボールVC.長野トライデンツ／安曇野市)
 - ・松本市との包括協定締結
 - ・台湾義守大学との教員交流に関する「覚書」締結
 - ・オーストラリアン・カソリック大学(ACUメルボルン校)とのMOU締結
- (6)その他
- ・大学院設置準備
 - ・「松本大学教育実践改善賞」の制定

- ・ 本学における学会等の開催(施設貸出)(第18回日本スポーツとジェンダー学会/日本生物教育会/信州公衆衛生学会「2020年度学術総会」/第65回日本宇宙航空環境医学会大会/世界健康首都会議/日本特別ニーズ学会)
- ・ 第2次中期目標・計画の冊子化
- ・ 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)への加盟
- ・ 消費税率引き上げへの対応

(2) 自己点検・評価委員会

2018年度この委員会の下には、コンプライアンス、認証評価に関連した2つの部会を置いて活動している。この委員会では、①自己点検・評価報告書、②アニュアル・レポート、③学生版アニュアル・レポート(通称：今、学生が輝いている)を作成し、発刊している。

これらの冊子は、年度が変わって直ぐに発刊されれば、各部署における活動成果や問題点が全学的に共有できるのであるが、毎年全てが揃うのに時間を要しており、記録データとしての意味は十分に果たしているが、機動性に欠けるという弱点が克服できないでいる。認証評価を受審する場合には、「何を置いても先ず対応する」という全学的意思統一が組織的に行われるため、6月には報告書や資料が全て揃っていることを思えば、平常時でもやればできるはずなのだが、やはり年度始めは新入生を迎え入れたり、進級学生への対応等で各部署とも忙しく、一段落してから取りかかり始めるというのが現状であり、発行に遅れが生じている。

「振り返る」より「先を見る」方に力が注がれがちなのはある程度仕方がないが、PDCAサイクルを回さなければ、改革や前進は図れないので、早く組織としてのルーチン化を確立しなければならない。

1) 認証評価準備部会

松本大学および松本大学松商短期大学部がともに、大学基準協会を通して2022年度に3度目の認証評価を受審しようと決めている。それには2019、20、21年度の活動実績が評価対象になることを確認している。文科省、具体的には基準協会から出される評価方針をよく分析し、それに則った報告書の書式に整えるための研究も進めている。また、本学が推薦・指名した評価員による他大学の認証評価活動は継続的に実施されているが、こうした経験は、本学にとっても将来に活かされるだろうと想定できる。こうした流れの一つとして、「内部質保証室」を新設し、自己点検・評価を含む大学改革を担う部門を統一的に掌握できるように、組織改革に取り組むべきであると提言した。

2) コンプライアンス推進部会

毎年、4月初めの合同教授会(職員も出席し、新たに着任された教職員の紹介も行われ、理事長や学長からの挨拶もある)において、学長は常にコンプライアンスへの意識向上を啓発している。特に研究活動に対する諸規定に基づいて、各教員は規程遵守の誓約書を研究倫理委員会・委員長へ提出している。これはほぼ定例化しているが、形式だけを整えているということにならないように、e-learningを含め内容の充実にも努めている。

また、コンプライアンス遵守を先導する内部監査室は、本学における公益通報の受付窓口にもなっているが、2018年度にはそうした事態は報告されていない。

(3) IR委員会

昨年度まで自己点検・評価委員会の下に置かれた部会であったが、今年度は委員会として独立させて様子を見ることにした。

高大接続改革、入学定員の厳格化が課題となっていることから、各学部・各学科とも入試制度の見直しや、AO、推薦、一般それぞれの入試における定員配分のあり方などを至急にまとめなければならない状況にあった。過去のデータ、特に前年度の入試データなどを解析するとともに、各学科のディプロマ・ポリシーに見合った受験生、入学生の確保をどうするか戦略を練ったという状況であった。

しかし、これは学生が集まらないのでどうするかといった後ろ向きな対応ではなく、多く集まっている受験生にどう対応するかという嬉しい悲鳴であるので、それぞれがやり甲斐を持ってリサーチしていた。これらの検討結果が、大学や短大の将来計画へと結びついていく、土台をなすものと期待される。(2)の1)に示したような提言を受け、次年度は再び部会とするが、それは内部質保証室の新設と絡んでの措置となる予定である。

(4) FD・SD委員会

2017年度までは、教育改善を主目的とした部会として機能させていたが、2018年度からは、大学運営全般を考えて取り組む必要があるとして、管理職を主な委員とする委員会へと転換した。しかし、これまでの授業改善などの実務的活動は継続する必要があるため、新たにFD・SD推進部会をその下に置いた。また、FD的位置付けを持った教育企画推進部会もこの委員会の下に置かれた。

この委員会では、最近の大学を取り巻く状況を敏感に反映させて、学内外から最適と思われる方を講師として依頼し、時宜を得たSD研修会やFD研修会を企画立案した。外部講師を招いた場合には、他大学への案内などにも力を入れたため、近隣の大学や短大からの参加者もあった。

1) FD・SD推進部会

「学生による授業評価アンケート」の実施について、前年まで委員会を担当していた委員に実務的な対応を委嘱した。今年度は前述のように管理職による委員会へと変換したが、実務面がまだ完全にはルーティン化されていなかったため、教員側が主導する形がしばらく必要と判断されたためであった。

今年度はこの部会の発案で質問項目を新たに一つ増やしたが、特段の混乱もなく実施できた。この部会が担っていた実務部分は、今年度の成果を以て事務部門で対応できる目途が付いた。

2) 教育企画推進部会

各学部・学科が、3つのポリシーを実現する上で必要な企画等があれば、この部会に個人ではなく組織として申請することになっている。2018年度採択された企画は次表の通りである。短期大学部では他に「情報処理検定受験支援」に関しての申請があり受理されていたが、予算執行はなされなかった。

学部又は学科名	申請テーマ	責任者
総合経営学部	防災士の育成	増尾
総合経営学科	Eラーニングシステム	室谷
	まつもと広域ものづくりフェアなどでのキッズプログラミング教室の開催	室谷
観光ホスピタリティ学科	生活と観光とが結びつく新たなツーリズムの検討	白戸
	「福祉」と「観光」の融合：アクセシブル・ツーリズムの促進事業	尻無浜
	国内旅行取扱・社会福祉士の資格取得強化の取組	尻無浜
健康栄養学科	教育農場及びひまわり畑、学習田での農作を中心とした地域活動と学習	中澤
	管理栄養士国家試験受験支援	山田
	一日限りのレストラン	成瀬・水野
スポーツ健康学科	健康栄養学科3年生授業関連企画「おいでよ♪松大健康教室」の開催	廣田
	大学入門ゼミナールでの学習手法の習得と学習時間の獲得	田邊
	体づくり運動実技指導講習	岩間
	スポーツ・レクリエーション(スポ・レク)指導者養成講座の開設と、アウトキャンパス等でのスポ・レク事業の展開	犬飼

学校教育学科	留学への動機を高めるための国内英語留学体験—British Hills 訪問—	和田
	パラスポーツ普及・推進事業	小林敏
短期大学部	オリジナルテキスト作成	山添

(5) 健康安全センター運営委員会

健康安全センターは稼働10年目を迎え、学生の健康の維持増進、安全な学習環境の充実に努めてきた。

1) 学生の健康管理

① 学生健康診断

H30.4.2～6：学生定期健康診断 1,991名

H30.4.16～18：学生定期健康診断 尿再検査 141名

H30.4.25～：胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(5名)

医師診察・尿検査 要精密検査該当学生保健指導(18名)

② 学校感染症抗体検査

H30.4.2～6：592名

結果返却・事後指導

③ 保健師対応

H30.4.1～H31.3.31 学生利用 実人数376名／延べ人数597名

急病・外傷などの応急手当、感染症発生対応、心身の健康相談など

医療機関移送 15件(健康安全センター)

※保護者相談対応 実人数22名／延べ人数25名

※来学者(入試・キャンパス見学会など)対応 実人数5名／述べ人数5名

④ カウンセラー対応

H30.4.1～H31.3.31 学生利用 実人数19名／延べ人数30名

2) 学生への健康教育

H30.5.14 人間健康学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」

「外傷の応急手当」

H30.5.17 総合経営学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」

H30.5.29 学校教育学科1年生 感染症抗体検査結果の見方

H30.6.13 学校教育学科1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」

「外傷の応急手当」

H30.6.18、21 地域づくり考房ゆめ 「熱中症と外傷の応急手当」

H30.7.6 健康栄養学科1年生 「大学生のメンタルヘルス・他職種連携」

H30.12.4 総合経営学部1年生 「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」

H30.12.7 防災総論「災害医療について」

H31.1.8 観光ホスピタリティ学科1年生 「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」

※心肺蘇生講習については別記。

3) 救護対応

オープンキャンパス(4/22、5/20、7/22、8/5、8/19、9/22)

H30.10.12～10.14 梓乃森祭

H30.10.20 松商学園120周年記念式典

H30.11.10 大学入学共通テスト プレテスト

- H30.11.11 学部推薦前期入試
- H30.11.17 短期大学部推薦前期入試
- H30.12.8、9 推薦・編入他入試
- H31.1.19、20 大学入試センター試験
- H31.2.2、3 一般A入試
- H31.2.22 学部一般B入試
- H31.3.1 短期大学部一般B入試
- H31.3.13 学部一般C入試
- H31.3.18 短期大学部一般C入試

4) 安全な学習・就業環境の整備

- ①AED(自動体外式徐細動器)の整備
 - ・日常点検の徹底
 - ・消耗品等適宜整備
- ②救急箱の整備・貸し出し
 - H30.4.1～H31.3.31 貸し出し実績 13件
- ③アナフィラキシーショック時の緊急対応(エピペン®使用)講習会の開催
 - H30.4.25, 26, 27, 5.15, 16, 18, 21 に計7回

5) 感染症対応

- ①インフルエンザ
 - i)松本大学インフルエンザ危機対策本部の設置
 - ii)学内感染者の把握・情報収集
 - H30.4.1～H31.3.31 インフルエンザ感染報告・登校および出勤禁止措置
学生106件・教職員11件
 - iii)感染拡大防止対策
 - ・発症者からの連絡に基づき、濃厚接触者への注意喚起
 - ・インフルエンザ予防接種の実施
 - H30.11.24～ 教職員108名
 - 学生77名(強化部・重点部)
 - iv)広報活動
 - 感染拡大時に教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起
 - v)緊急対応
 - H31.1.24、28 教職員の感染を確認。後期試験直前であったため、濃厚接触者への抗インフルエンザ薬予防内服対応。
- ②麻疹感染疑い対応
 - H30.6.29 学生より「医療機関にて麻疹と診断された」と連絡あり。
松本保健福祉事務所へ連絡。当該医療機関へ連絡。
教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起。
 - H30.6.30 血液検査・咽頭ぬぐい液検査にて、感染は否定された。

6) 学生寮の衛生管理

- ①松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理。
- ②あずさ寮調理員の検便管理
- ③松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

7) 心肺蘇生法啓蒙活動

- 学生対象 心肺蘇生法講習会
 H30.6.27、7.2 地域づくり考房ゆめ
 H30.9.19 学校教育学科 1年生
 H30.12.11 総合経営学科 1年生
 H30.12.18 観光ホスピタリティ学科 1年生

8) 学会・研修

- ① H30.8.2～3 第56回全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会研究集会
 (慶應義塾大学 三田キャンパス)
 ② H30.9.16 第28回 思春期臨床問題研究会ワークショップ 事例発表(松本市駅前会館)
 ③ 全国大学保健管理協会
 H25.4.1～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 保健看護分科会 運営委員に保健師が就任。シンポジウム企画担当。
 H30.8.2 運営委員会(慶應義塾大学)
 H30.9.13 運営委員会(慶應義塾大学)
 H31.1.22 運営委員会(東京学芸大学)

9) 会議

- 長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野県大学保健管理施設担当者会議」を設立した。
 H30.8.24 第2回担当者会議(参加大学 12、 於：松本大学)
 H31.2.15 第3回担当者会議(参加大学 12、 於：松本大学)

(6) 衛生委員会

平成30年度においては、主として次のような取り組みを行った。

1) ストレスチェックの実施について

- 実施者：松本大学 産業医・保健師
 実施期間：平成30年10月9日～10月19日
 対象者：197名
 受検者：195名(受検率 98.9%)
 実施の結果、高ストレスと判定された教職員について、保健師面談・臨床心理士カウンセリング・産業医面談勧奨等のフォローを実施した。

2) 教職員の労働環境の改善

- ・専任教員の就労時間の把握と管理について
 職員の健康管理面における必要性を踏まえ、タイムカード制(磁気カードを活用)による個人の学内滞在時間の把握を進めた。超過勤務については、所定の様式による所属長への事前申告制を継続していくこととした。

3) 教職員の健康管理

- ①健康診断
 平成30年5月30日 教職員定期健康診断(松本大学)80名
 個別受診対応(松本市医師会医療センター他)4名
 平成30年6月6日 教職員胃検診(松本大学) 26名

平成30年4月～ 教職員人間ドック(各健診機関) 86名

平成30年6月 教職員定期健康診断・胃検診 保健指導 80名

②学校感染症抗体検査

平成30年4月2日、3日、5日、6日 8名

③保健師対応

平成30年4月1日～平成31年3月31日 実人数：131名／延べ人数 54名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

④カウンセラー対応

平成30年4月1日～平成31年3月31日 実人数6名／延べ人数6名

⑤インフルエンザ予防接種について

学内で接種を受ける教職員に対し、1,500円(50%)の補助を実施。

平成30年11月21日 101名

平成30年11月24日 6名

平成30年12月25日 1名

⑥抗インフルエンザ薬 予防内服

インフルエンザ感染者と濃厚接触があった教職員について、学内での感染拡大予防・大学入試センター試験等の重要業務に支障を出さないことを目的に、教職員9名に対し抗インフルエンザ薬(タミフル®)の予防内服を行った。

⑦健康診断未受診者および診断結果未提出者について

法令の趣旨を踏まえ、衛生委員長から一斉メールにより健康診断の受診について改めて依頼した。また、全学運営会議において、健康診断を受診することの必要性を再度周知した上で、必要に応じて所属長から個別に指導することとした。未受診の教職員には、個別に保健師からも受診勧奨を実施した。

(7) 人権委員会

人権委員会には、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会があり、それぞれの部会を運営している。委員会の構成メンバーは、教員が各学部学科から10名、職員は学生課、教務課、管理課、情報センター、キャリアセンターなどの各部署から10名の合計20名である。教員は、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会を共に担当しているが、職員は両部会に分かれて担当している。

1) ハラスメント防止部会

本部会では、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、これらに類する人権侵害の言動、行動に対して、防止と排除を目的として活動している。2018年度、学生からのハラスメント相談は1件もなく、ハラスメントに類する事案が本学では起こっていない。

2) 個人情報保護部会

本部会は、近年の高度情報通信社会の進展に伴い、個人情報の利用拡大やソーシャルネットワークシステム(SNS)に代表される、個人情報の流出しやすさなどについて、教育機関として、個人情報の適正な収集、利用管理および保存を図り、個人の権利利益の保護を目的として活動している。これは、個人情報保護方針(プライバシーポリシー)に関係する法令および学内規定に基づいたものである。2018年度、本部会への相談や通報などは1件もなかった。

B：施設管理

(1) 施設管理センター運営委員会

2018(平成30)年度の主な施設設備整備事業は次のものであった。

①9号館建設工事

中期目標・計画に基づき、学生厚生棟のフォレストホールを増築する形で9号館を建設した。鉄骨3階建の建物で1階をコモンルーム、2階は学生レストランとし、3階は研究室・大学院演習室・事務室で構成している。

総建築費 6億50,000千円

②9号館備品・消耗品費

9号館の什器・学生レストラン券売機・消耗品等を整備した。

購入費用 66,770千円

③機械棟ボイラー1・2号機更新工事

機械棟に設置している、ボイラー5機のうち、老朽化が進んでいる2機について入替えを行った。

更新費用 15,120千円

④野球場スコアボード入替工事

野球場建設時に設置したスコアボードの老朽化に伴う入れ替え工事を行った。

工事費 4,870千円

⑤電気料金の削減

2018年4月から電力会社を中部電力から関西電力に変更し、契約電気を900kwhから830kwhに落とすことができたことと、照明の第2期LED化により当初予算より8,400千円減額でき、36,000千円となった。

(2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、非常に広範囲にわたるものである。全体を俯瞰すると、①大規模災害時への対処、②インターネット社会における情報セキュリティの確保、③研究倫理の定着とコンプライアンス、④キャンパスの安全確保とハラスメント対策に大別できる。これらの課題に対する具体的な取り組みは、各分野を管轄する各委員会と各部会で進められている。ここでは、各分野に対する本学としての全体方針を示す。

①大規模災害への対処

大学COC事業において、松本広域消防局、新村地区消防団と連携し、防災対策を推進していく。定期的に防災訓練を実施し、有事に備える。また、防災士養成講座の開講と正課授業をリンクさせ、防災・減災教育に取り組む。さらに、災害時に対応できる機器備品の整備も継続的に進める。

②インターネット社会における情報セキュリティの確保

情報センター運営委員会と情報センターの職員による専門性の高い取り組みにより、サーバーの学外移転、キャンパス・セキュリティ対策を計画的かつ迅速に進めていく。また、全教職員が学校法人松商学園情報セキュリティ・ポリシーに基づき、本学の情報資産を保護し、情報セキュリティの適正な管理を遂行していく。

③研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発

研究倫理に関する諸規定の見直しを進め、我が国の研究倫理のガイドラインに沿うものとして整備した。また、全教職員に対して、研究倫理に関する研修の機会を提供し、高次の研究倫理観の醸成とその啓発に継続的に取り組んでいく。また、学校法人松商学園コンプライアンス推進規程及び学校法人松商学園コンプライアンス行動規範の遵守を推進する。

④キャンパスの安全確保とハラスメント対策

既に整備している学内管理下の事故防止策や損害賠償責任に対する保険、実験・実習の安全管理と傷害保険等の点検をする。また、校舎、校地内の危険箇所の点検を進める。学生の通学時の車輛(バイクを含む)事故の防止に向けた安全教育に取り組む。現在、運用しているキャンパスハラスメント防止体制を再点検するとともに、全教職員に対して、キャンパスハラスメントを防止する意識を啓発するための研修の機会を定期的に設定していく。

1) 環境保全部会

〔活動実績〕

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
- ③大学全体の1年間の電気使用料は照明の第2期LED化などにより前ページ(1)－⑤のとおり削減できた。

2) 防災対策部会

〔活動実績〕

- ①防災訓練の実施(7月と11月) ※7月においては新村地区との合同訓練
実際の発生に近い設定による防災訓練を試みる観点から、昨年を踏まえ新村地区における第一次避難場所(町会公民館)と指定避難場所(松本大学グラウンド)との避難経路の確認と本学学生の役割の検証を行った。
- ②防災士養成講座(日本防災士機構)開講
・8月25日(土)・26日(日) ・2月9日(土)・10日(日)の2回実施
- ③防災士養成における正課授業への開講準備
- ④防災対策 先進地視察 北海道庁危機管理室
6月7日(木)～6月9日(土) 札幌科学大学等訪問
主に防災士のフォローアップ組織運営、研修内容等の情報収集と実態把握
- ⑤「松本大学及び松本大学松商短期大学部 防火・防災に係る消防計画」精査